



持続可能な社会をみつめて…

広島ガス CSR 報告書

2011

corporate social responsibility report 2011





1909年の創立以来、炎が創る生活の素晴らしさをお届けしています。

広島ガス CSR報告書 2011

▶ 発行にあたって

企業は従来から、社会に対して製品やサービスの提供という本来業務に加え、環境保全、社会貢献等のさまざまな社会的責任（CSR: Corporate Social Responsibility）を果たしてきました。近年、一つの指標としてCSRの観点から企業を評価するなど、企業のCSR活動への注目は一層高まっています。

広島ガスでは、2000年度から当社の開示情報を環境分野と経営分野の両面から報告することを目的に本報告書を発行してきました。2003年度版からは、GRIのガイドライン^{*}を参考に新たに社会的側面も報告対象とし、2005年度版からは、社会分野を他のパートから独立して設け、「経営（経済）」「環境」「社会」の3分野で構成、標題も「CSR報告書」として発行しています。

2011年度版は、広島ガスグループの一層の発展に向けた取り組み、天然ガスの特性や各種ガス機器の環境効果、CSRへの社員一人ひとりの取り組みについて、巻頭特集として記載しています。

参考ガイドライン

- ・環境省「環境報告ガイドライン〈2007年版〉」
- ・GRI「サステナビリティ・リポーティング・ガイドライン2006」
- ※GRI: Global Reporting Initiativeの略。全世界で適用可能な報告書ガイドライン作成に取り組んでいる国際組織

主な対象範囲

広島ガス株式会社の2010年4月から2011年3月までの活動（経営・環境・社会）
 ※一部広島ガスグループおよび2011年度上期の活動を含む

広島ガスCSR報告書 2011 によせて



神戸大学大学院 経営学研究科
 こくぶ かつひこ
 國部 克彦 教授

広島ガスの2011年CSR報告書では、経営トップである田村社長が重視する「心・技・体」が強調されています。特集1では、「心・技・体」の具体的な活動を示されており、抽象的な経営理念ではなく、実際の活動に落とし込むことは高く評価することができます。

また、東日本大震災後の日本で喫緊の課題であるエネルギー政策や安心・安全に向けた取り組みについて詳細に開示していることも特筆に値します。天然ガスを中心とするエネルギーの安定供給と環境負荷削減は、今後の日本のエネルギー政策全体に影響を与えるものであるため、広島ガスの経営方針にま

ます注目が集まると思います。

社会分野についても地域振興を中心に熱心に活動を展開されています。社会的責任については、2010年にISO26000が発行されましたので、その内容も参考にされながら、さらに活動を促進していただきたいと考えます。

広島ガスの特徴は地域密着型の企業ということですが、産業界のグローバル化がいくらか進行しても、それを支える地域がしっかりしなければ、経済は発展しません。しかも、エネルギー供給という重要な役割を担っておられるので、その社会的使命を着実に実行されるよう発展されることを期待します。

Contents

目次・発行にあたって	1
CSRへの取り組み（基本的な考え方）	2
TOP MESSAGE	3
【巻頭特集】	
「広島ガスグループの「心・技・体」の充実に向けた取り組み」	5
「天然ガスで環境負荷低減」	7
「CSRへの一人ひとりの取り組み」	9

経営分野

都市ガス事業フロー、広島ガスの供給エリアと体制	11
お客様の安心・安全に向けた取り組み	13
都市ガス事業	15
都市ガスの安定供給への取り組み	16
広島ガスグループの経営体制	17
2011年度事業計画の概要（中期経営計画含む）	19
業績概要（連結）	21
業績概要（単体）	22

環境分野

環境保全活動の基本的な考え方	23
環境目標および実績	25
環境会計	26
事業活動における環境負荷（2010年度実績）	27
お客様先での環境負荷の低減	29
事業活動における環境負荷の低減	31
地域環境保全への貢献	33
環境活動の歩み	35
環境データ	36

社会分野

地域社会との関わり（芸術・文化、地域、スポーツ振興）	37
地域社会との関わり（次世代教育への取り組み）	39
従業員との関わり	41
情報発信・コミュニケーション	43

広島ガスの概要	45
広島ガスグループの概要	46

本報告書の記載項目のうち、関連するページおよび広島ガスホームページにも掲載されている事項を、下記のように表記しておりますのでご参照ください。



詳しくは * のページをご参照ください。



詳しくは広島ガスホームページをご参照ください。

CSRへの取り組み（基本的な考え方）

CSR(企業の社会的責任)には、「経営(経済)」「環境」「社会」の3つの側面があり、持続可能な社会の実現のためには、企業活動としてこれらの3つの要素が必要と言われています。

当社および当社グループは、「地域社会から信頼される会社をめざす」という経営理念のもと、地域の皆さまにエネルギーを安定的かつ安全にお届けし、安心して安全にお使いいただくという、極めて公益性の高い事業を行っており、その事業の遂行こそが大きな「社会的責任」であると考えています。また、ガス体エネルギーの普及拡大とエネルギーの高度利用を基軸とした低炭素社会実現に向けた活動や、日常からのさまざまな業務や活動を通じ、お客さま・地域社会・株主の皆さまをはじめとするすべてのステークホルダー(利害関係者)の皆さまから信頼され、選ばれ続ける企業グループをめざしています。

経営理念

地域社会から信頼される会社をめざす

2020年
ビジョン
「Action for
Dream
2020」

「お客さま」「地域社会」とのつながりを第一義と考え、「地域社会から信頼され、愛され、選ばれ続け、地域とともに発展する企業グループ」をめざす

当社グループは、2009年10月に、広島ガスグループ2020年ビジョン「Action for Dream 2020」を策定しました。

2020年ビジョンは、2030年、2050年といった超長期のガス事業のあり方も視野に入れ、ガス体エネルギーの普及拡大とエネルギーの高度利用を基軸として、当社グループが次世代のあるべき姿に向けて持続的に発展していくための橋渡しと位置づけています。

■ 2020年ビジョンの方向性

《原点回帰》

- 本来業務であるエネルギー供給事業への回帰(経営資源の集中)を図る。
- お客さま第一主義へ再度立ち返り、選ばれ続ける企業グループをめざす。

温かく

- ◎人材を育む
- ◎環境を育む
- ◎お客さま・地域との関係を育む

広く

- ◎ガス体エネルギーの普及拡大(エリア・市場の拡大)
- ◎多様なエネルギーの提供

深く

- ◎エネルギーの高度利用
- ◎お客さまとの密なコミュニケーション
- ◎お客さまが望まれるサービスの提供

2020年
ビジョン実行
中期経営計画
2011年度事業計画

P.19

2020年ビジョン実現に向けて、ビジョン実行中期経営計画(2010~2012年度)を着実に実行する

- 1.ガス体エネルギー(天然ガス・LPガス)の普及拡大とエネルギーの高度利用を基軸として、低炭素社会の実現に貢献する。
- 2.お客さま目線でのサービスのあり方を追求し、環境にやさしく快適な生活を創造し、お客さま価値の向上を図る。
- 3.グループ全体の収益性を高め、健全で強靱な企業グループを構築する。
- 4.公正かつ透明で風通しのよい組織へ変革し、地域の好感度No.1企業をめざす。
- 5.グループの成長を担う人材の育成を推進する。

持続可能な社会の実現にむけて

TOP MESSAGE

はじめに

2011年3月11日に発生した東日本大震災に際しましては、被災者の皆さまに心からお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。また、復興に向けて懸命の努力を続けておられる関係者の皆さまには、心から敬意を表する次第です。2011年度のガス業界の活動は、この震災に伴う東北地方のガス事業者のガス供給復旧支援に始まり、その活動を通して「ガスを安定して安全にお客さまにお届けする使命」と「全国のガス事業者のエネルギー事業者としての連帯」の重要性を再確認いたしました。このことを念頭に置き、広島ガスグループは当社経営理念の一層の実現に向けて、一生懸命努力してまいり所存です。

公益企業としての社会的責任

広島ガスグループが果たすべき社会的責任とは、「地域社会から信頼される会社をめざす」という経営理念に基づき、公益企業としてエネルギーの安定供給と保安の確保を柱とした事業活動を展開していくことであると考えております。

CSR(企業の社会的責任)には、「経営」、「環境」、「社会」の3つの側面があります。当社グループは、経営的側面ではエネルギーの安定的かつ安全な供給と外部環境の激しい変化に対応しうる経営計画の策定・実施を、環境的側面ではクリーンエネルギー天然ガスの普及・拡大等の事業活動を、社会的側面では社会貢献活動および的確・迅速な情報発信を推進しております。

エネルギーセキュリティを重視した低炭素社会実現への貢献

東日本大震災を契機として、エネルギーセキュリティの重要性が再認識されており、供給安定性と環境性に優れた天然ガス・LPGのガス体エネルギーは、さらに重要なエネルギーとして位置づけられ、一層ニーズが高まっていくも

のと考えております。

エネルギーセキュリティを重視した低炭素社会実現に貢献するためには、次の二つの方法があると考えております。

一つ目は、ガス体エネルギーを普及・拡大させることです。

当社供給エリア内外において、ガス体エネルギーのご提案を一層展開することにより、エネルギーの分散化を図り、エネルギーセキュリティ確保に寄与してまいります。

二つ目は、分散型電源を普及・拡大させることです。

これまでガスエンジン、ガスタービン等による業務用の「ガスコージェネレーションシステム」、家庭用ガスコージェネレーション「エコウィル」の普及を図ってまいりました。これらに加えて家庭用燃料電池システム「エネファーム」の普及・拡大に努めるとともに、「エコウィル」、「エネファーム」と太陽光発電を組み合わせた「ダブル発電システム」の積極的な提案を通じて、大規模系統電源による電力供給システムを補完するエネルギーのベストミックス利用を一層推進してまいります。

エネルギーの逼迫が懸念される今日において、これらオンサイトのエネルギーシステムは、その高効率、省エネルギーの特徴を活かし、社会のニーズに応えていけるものと確信しております。



地域好感度No.1企業グループをめざして

また、地域に根差した当社グループが、持続的に発展していくためには、地域の活性化が不可欠であると認識しております。エネルギー供給の着実な遂行に加え、お客さまや地域の皆さまとのふれあいを大切に、地域の芸術、文化、教育、スポーツ分野等における社会貢献活動や、生物多様性にも配慮した環境保全活動を一層充実させていきたいと考えております。

コンプライアンスの取り組みでは、グループ全体におけるコンプライアンス意識の徹底とリスクマネジメント体制の強化や、風通しの良い職場環境の構築による公正かつ透明性の高い事業運営に努めてまいります。

皆さまには、本報告書をご一読いただき、当社グループの取り組みをご理解いただくとともに、忌憚のないご意見・ご感想をお聞かせいただければ幸いです。

このような取り組みを着実に推進していくためには、当社グループの「心・技・体」の一層の充実を図ることが大切であると考えております。

当社グループの「心・技・体」とは、経営理念を指す「心」、2009年10月に策定した2020年ビジョンを受けたビジョン実行中期経営計画や事業戦略を策定・実行する「技」、グループ役職員の現場力である「体」を意味しております。いずれも基本となるのは、役職員の前向きで、明るい、元気なパワー（現場力）です。

当社グループの役職員は、これらの思いを胸に業務に精励し、「地域好感度No.1企業グループ」として、すべてのステークホルダーの皆さまから信頼され、選ばれ続ける企業グループをめざしてまいります。

2011年8月
代表取締役 社長執行役員

田村 豊 浩

広島ガスグループの「心・技・体」の充実に向けた取り組み

心

広島ガスの経営理念
「地域社会から信頼される会社をめざす」



全ガスショップにおいて、お客さまとの更なる信頼関係の構築に向けて「ふれあい巡回」を2010年4月からスタートしました。「まちのガス屋さん」として、接点機会をたくさん作り、ふれあいの場を醸成する取り組みを進めています。



当社グループは地元企業として、地域振興、芸術・文化、スポーツ振興、教育支援、環境保全の領域を中心とした地域貢献活動を実施しています。引き続き、地域の活性化に向けた取り組みを一層充実させていきます。



コンプライアンスを重視した公正で透明性のある事業活動を推進するため、コンプライアンス教育を実施しています。定期的な教育により、当社グループ全体におけるコンプライアンス意識の徹底を図っています。

技

2020年ビジョンを受けた
ビジョン実行中期経営計画や
事業戦略の策定・実行



2020年ビジョンの具現化に向けて、6つのプロジェクトでの検討結果を中期経営計画に反映しました。当社グループが連携して一丸となり、中期経営計画のアクションプランに積極的に取り組んでいきます。



都市ガスの安定供給と将来の需要拡大に向けて、廿日市工場の栈橋機能拡大工事実施を決定しました。本工事により現行の小型LNG船と併用して、標準LNG船の受入体制を整えていきます。

当社グループの一層の発展に向けて、2010年4月の田村社長就任以降、「心・技・体の充実」というキーワードを胸に、事業活動を遂行してきました。
本特集では、2010年度の活動の一端を紹介します。

体

広島ガスグループ役職員の前向きで、
明るい、元気な現場力



ガス機器販売に加え、お客さま貢献や地域環境貢献などの要素も盛り込んだワンステップ運動を2010年10月からスタートしました。役職員一人ひとりが、自分のできることを着実に取り組み、前進していきます。



お客さまの安心・安全を向上させるための取り組みの一環として、保安技術の強化を目的とした社内技能コンクールを実施しました。こうした活動を積み重ねることで、「現場力」の維持・向上を図っていきます。



お客さま満足度を向上させる取り組みとして、さまざまな営業研修を実施しています。環境性、快適性、経済性を備えた家庭用燃料電池「エネファーム」をはじめ最新ガス機器による温かなガスのある暮らしへご案内できるよう日々レベルアップに努めています。



2010年6月に、創立100周年を記念したスポーツフェスタを開催しました。当社グループ役職員や家族、約1,200名が参加し、競技や応援を通じて積極的なコミュニケーションが図られ、グループの一体感を醸成する一助となりました。

天然ガスで環境負荷低減

広島ガスは、低炭素社会の構築をめざし、クリーンエネルギー天然ガスの高度利用を基軸として地球環境保全を推進していきます。

クリーンエネルギー「天然ガス」

天然ガスは、炭素含有量が少ないメタンが主成分で、化石燃料のなかでも燃焼時に地球温暖化の原因のひとつといわれるCO₂や大気汚染原因となる物質の排出量が少ないクリーンエネルギーです。

■ 化石燃料の燃焼生成物等発生量比較 (石炭を100とした場合)



資料：CO₂は、「火力発電所大気影響評価技術実証調査報告書」(1990年3月)／財エネルギー総合工学研究所
NO_x、SO_xは「天然ガス—2010年の展望—」(1987年3月) OECD・IEA

天然ガスを冷却し液体にしたものをLNG(液化天然ガス)と呼びます。広島ガスは、インドネシア、マレーシアおよびロシア(サハリン)で採掘され現地で精製・液化されたLNGを輸入し、廿日市工場で受け入れています。工場では、LNGを主原料に都市ガスを製造し、導管を通じてお客さまにお届けしています。

■ 都市ガスの性状

成分およびその含有量(広島ガスにおける天然ガス供給区域)

成分		組成
名称	化学式	体積%
メタン	CH ₄	89
エタン	C ₂ H ₆	5
プロパン	C ₃ H ₈	4
ブタン	C ₄ H ₁₀	2

(注)ガス組成は代表値を示す。
ガス種 / 13A
標準熱量 / 46.04655MJ/m³N
(11,000kcal/m³N)
比重(空気=1) / 0.655
CO₂排出係数 / 2.36kg-CO₂/m³N

都市ガスのご利用あれこれ

エネファーム

天然ガスから取り出した水素と空気中の酸素を燃料電池で化学反応させて発電し、その際に出る熱を給湯や暖房に利用するコージェネレーションシステム。

エコジョーズ

今まで捨てていた排熱をコンデンスリング技術を使って再利用し、熱効率を80%から95%まで引き上げた高効率給湯器。

家庭用

エコウィル

小型ガスエンジンで発電機を回して発電し、その際に出る熱を給湯や暖房に利用するコージェネレーションシステム。

Siセンサーコンロ

万が一、火が消えてしまっても自動的にガスをストップする「立ち消え安全装置」に加え、火を設定時間で自動消火する「コンロ・グリル消し忘れ消火機能」、センサーで鍋底の温度を感じし油の過熱を防止する「調理油過熱防止装置」を標準装備したコンロ。

Siセンサーコンロ(バーナー部分)

ガスコージェネレーション

都市ガスを燃料としてガスタービンやガスエンジン・燃料電池などで発電を行い、その時に発生する排熱を有効利用し、冷暖房・給湯等を行うシステム。

広島工業大学 新講義棟「三宅の森 Nexus21」

天然ガス自動車

ガソリンや軽油の代わりにクリーンな天然ガスを燃料に走行する自動車。

路線バス

業務用・工業用

厨房(涼厨®)

厨房内の温度上昇を効果的に抑え、涼しくするガスの厨房機器シリーズ。

ガスヒートポンプエアコン(GHP)

室外機内のコンプレッサーをガスエンジンで駆動させるヒートポンプ(熱を低温部から高温部へ汲み上げる装置)によって冷暖房を行う空調システム。

室外機 室内機 排熱利用

工業用省エネ型バーナ

(広島ガス技術研究所開発)

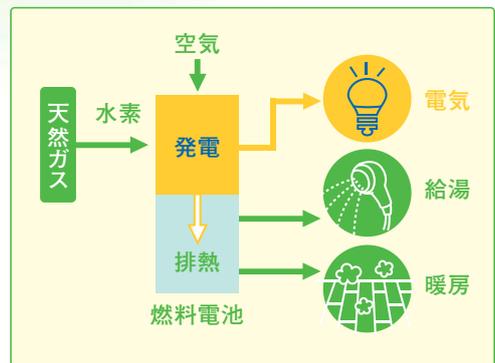
バーナの熱交換部分を工夫して排熱回収することにより、小型工業炉の省エネ性能を約30%向上させた。

工業用省エネ型バーナ

家庭用燃料電池「エネファーム」



化学反応により電気と熱をつくり出す、
燃料電池方式。
地球にやさしい先進のエネルギーライフ。



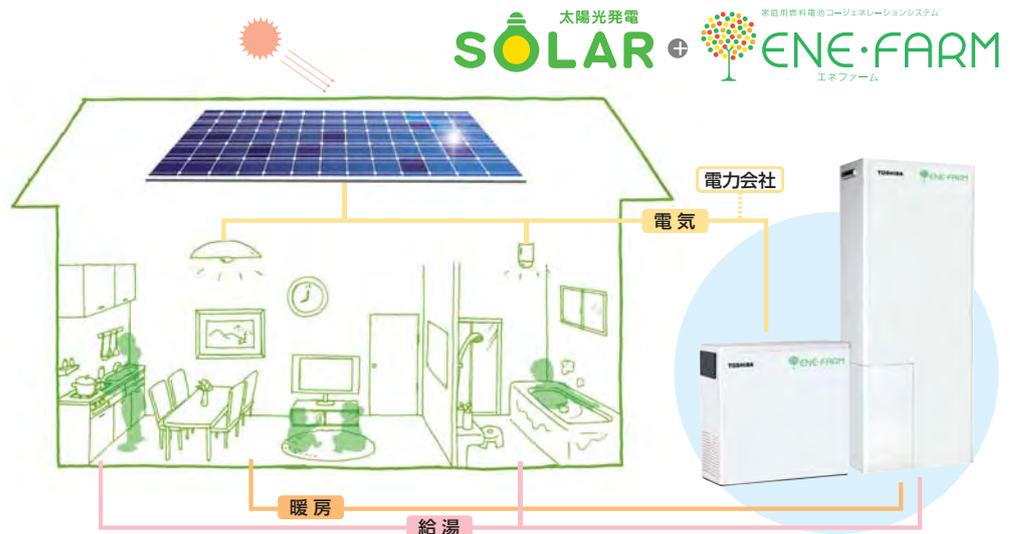
「エネファーム」は、天然ガスから取り出した水素と空気中の酸素の化学反応で発電し、その時発生する熱を利用してお湯をつくります。CO₂排出量を抑え、発電効率が高い最先端の発電・給湯暖房システムです。

W発電

マイホーム発電と太陽光発電のダブル発電。燃料電池と太陽のエネルギーを利用する太陽光発電との組み合わせで、地球環境にもやさしい暮らしを実現します。

太陽の光エネルギーを受けて発電する太陽光発電。潤沢なエネルギー源とクリーンさは最大の魅力。光熱費を抑え売電ができるのも大きなメリットです。

ただし、夜間は稼働せず、雨天時の電力低下など安定した供給が課題になります。そこで、W発電で組み合わせることにより、不安定な弱点を補いさらに経済的で効果的な「創エネルギー住宅」をつくります。



涼厨®

「涼厨®」とは

「涼厨®」とは厨房を涼しくするガスの厨房機器シリーズです。従来の厨房は機器表面の熱と燃焼排気が厨房内の温度を上昇させていましたが、「涼厨®」は空気断熱層を設けることで輻射熱をカットし、同時に集中排気により燃焼排気が厨房内に拡散するのを防止。これにより厨房内の温度上昇を効果的に抑えることができます。



「涼厨®」は大阪ガス株式会社登録商標です。

集中排気で燃焼排気の拡散を防止

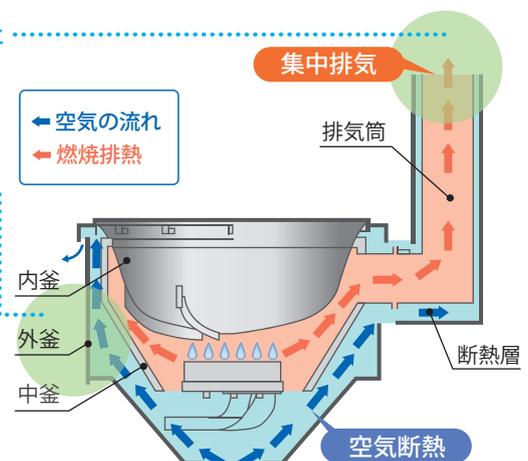
燃焼排気が厨房内に拡散するのを防ぎます。

空気断熱で輻射熱をカット

機器表面温度が低く、裸火がないため、輻射熱を大幅にカットでき、万が一触れてもヤケドの心配がありません。

簡単清掃で衛生的

機器表面温度が低いため、煮こぼれても焦げ付きが少なく、サッと掃除できます。



CSRへの一人ひとりの取り組み



原料の調達・輸送



原料部
藤本 輝昭

LNGをはじめとする都市ガス原料の調達業務を担当しています。当社は、LNGを海外から直接LNG船で輸送しており、現在3隻を運用して調達を行っています。LNG船の運行に関わるさまざまな関係者と情報交換を行い、都市ガスの安定供給、LNG船の安全航行を念頭に置きながら、年間を通じて航行スケジュールの策定・調整を図っています。

現在運用しているLNG船のひとつ、「サン アローズ」号の名前の由来にあるように、ガスをご利用いただいているお客さま、地域の皆さま、そして当社の3者が1本の矢のように一緒に発展していく事をめざしながら、今後も引き続き原料の安定調達に努めていきます。



都市ガスの供給



供給部
新山 雄治

広島ガスでは、万が一のガス漏えいおよび導管事故に備えて、24時間365日の緊急出動体制を整備しています。災害への緊急対応レベルの向上を目的に教育、主要幹線の破損事故を想定した緊急措置訓練や行政主催の各種防災訓練にも積極的に参加しています。ガス漏れ通報があった場合には、ただちに現場に急行し、速やかに異常の有無を調査して必要に応じて復旧作業を実施しています。復旧作業に当たっては常にお客さまの安全を第一に考えるとともに、確実・迅速な対応に努めています。

作業完了後は、お客さまに作業内容を説明します。その際は、分かり易い言葉でご納得いただけるよう心掛け、ご不在の場合でも、電話によるフォローを実施するなど、お客さまの安心・安全とともにお客さま満足度の向上にも日々懸命に取り組んでいます。



都市ガスの製造



廿日市工場
渡上 尚彦

広島ガスの主力工場である廿日市工場で、都市ガス製造のオペレーション業務を担当しています。廿日市工場は、24時間365日操業していますので、私たちオペレーターは昼夜・土日祝日を問わず3交替勤務で対応し、都市ガスの製造、設備の異常を早期に発見するための工場内パトロール・ガス漏れ点検等を行っています。都市ガスの製造では、安全操業はもちろんのこと、設備の効率的な運用等により使用電力の削減をはじめとする省エネに努めています。

また、操業上のトラブル等に迅速に対応できるよう、さまざまなトラブル想定をした緊急措置訓練を計画的に実施しています。このような取り組みを着実に実行していき、今後もお客さまに安心・満足してガスをご利用いただけるよう、安全操業、安定供給に努めていきます。



供給部
神田 大輝

中央監視制御室では、24時間365日広島ガスの都市ガス供給エリア内の供給圧力を、夜勤を含めた3交替勤務で監視しています。ガス工作物(ガスホルダー・整圧室・ガス圧力調整器)の工事およびガスホルダーの検査、ガス圧力調整器の分解整備等、保守管理も行っています。供給エリア内にあるガスホルダーは11基、整圧室は57ヶ所、ガス圧力調整器に至っては364ヶ所もあり、廿日市工場から送出したガスをガス圧力調整器で主に中圧、中間圧、低圧の3種類の圧力に下げ、お客さまが安心してお使いできるようにお届けし、日々ガスの安定供給に努めています。

さらに、近年では災害対策の充実を目指し、供給エリアの小ブロック化による地震対策等を更に進め、今後もお客さまに安心・安全を提供していきます。

日々の業務に全力を尽くすことが、当社グループのCSR推進につながると考えています。
原料の調達・輸送からお客さま先まで、各段階での一人ひとりの取り組みを紹介します。



お客さま先で



家庭用エネルギー
営業部

小倉 由衣

私は、ハウスメーカーさまに、環境性の高い天然ガスの良さやガス機器の快適性、環境性、経済性をご理解頂き、ご家庭のエネルギーとして都市ガスを採用いただけるよう提案業務を行っています。

お客さまの関心が『省エネ』から自宅でエネルギーを創る『創エネ』にシフトしつつあるなか、『創エネ』でできる家庭用燃料電池「エネファーム」や、快適な暮らしを実現できる床暖房などのガス機器を、太陽光発電と併せてエネルギーのベストミックスという観点で提案することに注力しています。これらのガス機器がハウスメーカーさまの住宅に採用され、お客さまが環境に優しく、快適な暮らしをしていただくことを願っています。

ハウスメーカーさまに満足いただく提案を通じて、ガスをお使いいただくお客さまに喜んでいただけるよう努めていきます。



営業技術部

小林 達也

エネファーム、エコウィルといった家庭用コージェネレーションシステムのメンテナンス業務を担当しています。お客さまの依頼に速やかに対応するためには、必要な部品が常に準備されていることがポイントとなります。メーカーさんのアドバイスや過去の事例を参考に必要と思われる部品を備えています。

また、メンバーの多くは、天然ガス転換時に調整員としてガス機器の調整を経験していますので、ガス機器について精通しています。この経験が、迅速、かつ安全確実な作業を支える基礎となっていると思います。

引き続き、お客さまにコージェネレーションシステムを安心してお使いいただくことでお客さま満足度の向上に努めていきます。



広島ガス東部(株)

徳丸 猛

各ガスショップでは「ふれあい巡回」を実施しています。お客さまとの接点を大切に、親近感を持っていただけるよう広島ガスファン拡大に向けて日々頑張っています。主な業務としてガス機器の無償点検を行っています。お客さまのガスホースの状態やガスコンロのバーナーの詰まり、ネジのゆるみ等、専門家ならではの点検を実施し、必要があれば手直しを施します。もちろんガス漏れ検査もします。またキッチンやお風呂、トイレまわりに太陽光発電など住宅にかかわるエコで快適な暮らしの提案も行っています。

これからも、お客さまからますます信頼していただける地域のガスショップをめざしていきます。



広島ガスメイト(株)

瀬川 綾

お客さまからのあらゆるお問い合わせ電話に対応するコールセンターは、2007年10月から本格稼働し、2011年4月より広島ガスメイトへ業務委託されテレホン業務部として新たなスタートを切りました。

受付内容につきましては、発足当時は「転宅時のガス開閉栓」「ガス機器の修理」「料金に関するお問い合わせ」がほとんどでしたが、現在ではふれあい巡回関連など幅広い業務の受け付けをしています。

また、近年お客さまからのお問い合わせ内容は多岐にわたるため、対応レベルの向上をめざし、日々勉強会の開催等行っています。私たちは、常にお客さまの目線に立ち、お客さまとのコミュニケーションを大切に受け付ける事で、ガスファンを増やしていけるのではと考えています。

経営分野

エネルギーの安定的かつ安全な供給、継続的な企業価値の向上をめざし、事業基盤の強化を図るとともに、経営の健全性・透明性の確保に努めていきます。

都市ガス事業フロー

原料の調達・輸送



インドネシア ボンタン基地



LNG船
スリヤ アキ



LNG船
スリヤ サツマ



ロシア プリゴロドノエ基地



LNG船
サン アローズ

原料となる天然ガスは、海外で採掘され、冷却(-162℃)・液化し、LNG(液化天然ガス)として輸送

都市ガスの製造



LNG貯槽



気化器

LNGは、いったんLNG貯槽に受け入れ、需要量に応じて気化した後、熱量を調整してガス臭を添加し、都市ガスとして送出



付臭設備

広島ガスの供給エリアと体制

供給エリア(広島県内5市4町)

広島市、呉市、尾道市、三原市、廿日市市、安芸郡海田町・坂町・府中町・熊野町

お客さま件数
41万8千件

広島地区

お客さま件数 34万9千件



廿日市工場



本社

可部事業所

本社

海田基地
技術研究所

熊野事業所

呉地区

お客さま件数 5万1千件



呉支店

東広島製造所

東広島製造所

都市ガスの供給



球形ガスホルダー



導管工事



中央監視制御室

地中に埋設した4,879kmの導管(本支管・供給管)を通じて、お客さま先まで供給

お客さま先で

家庭用



厨房、給湯等

商業用



ホテル、ビル、学校等

工業用



工場等

天然ガス自動車



トラック、バス、乗用車等

お届けした都市ガスは、お客さま先のさまざまなガス機器等でご使用

広島県



備後工場

卸供給
(広島ガス)

連結子会社である瀬戸内パイプライン(株)の設備を活用して卸供給



水島ステーション
(瀬戸内パイプライン(株))



水島LNG基地
(水島エルエヌジー(株))

岡山県

水島LNG基地
水島ステーション

福山ガス(株)

備後工場

三原営業所

尾道支店

尾道・三原地区
お客さま件数 1万8千件



尾道支店

凡例

供給エリア (広島地区)		ガスホルダー	
供給エリア (呉地区)		ガス製造所	
供給エリア (尾道・三原地区)		本社・支店	
幹線(自社)		検討中幹線	
幹線(他社)			

お客さまの安心・安全に向けた取り組み

都市ガスを安心して安全に、そして満足してご利用いただけるよう、各段階でさまざまな対策を実施しています。

緊急時の保安対策

万全の緊急措置体制により、災害発生時等でもエネルギーの安定供給と保安の確保に努めていきます。

当社では、日頃から地震・火災・台風・洪水等の緊急事態に備えて体制を整備し、被害の未然防止に向け、さまざまな安全対策を講じています。

被害が発生した場合、または被害の発生が予想される場合は、関連情報（工場、導管、お客さま、気象等の状況）の早期収集に努め、必要に応じ警戒体制、または社長を本部長とした対策本部を設置します。

万が一被害が発生した場合でも、関係各所と連絡・連携を取りながら、被害の拡大や二次災害の防止のための措置*を行い、可能な限り早期の復旧をめざして対応していきます。

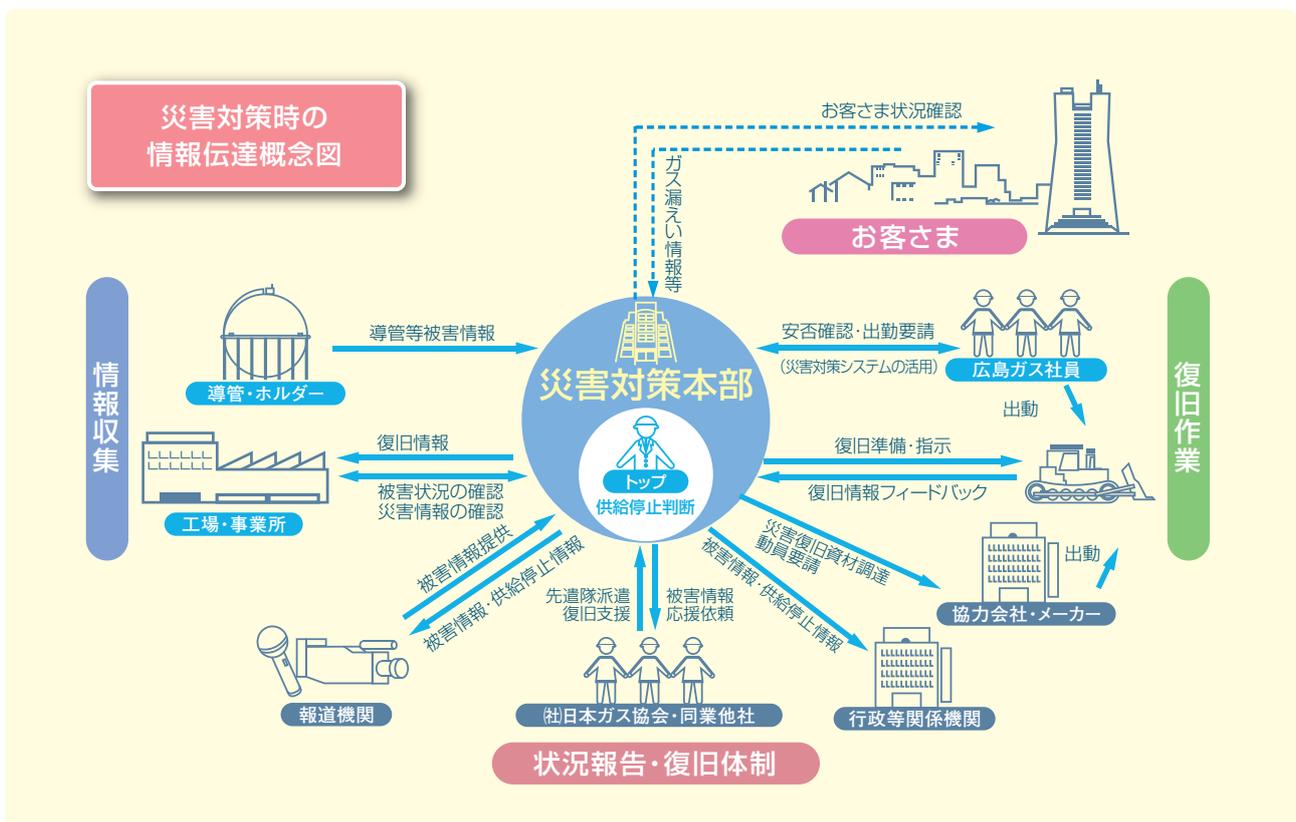
被害や対応の状況は、行政等の関係機関、報道機関に対しても適宜発信します。

なお、新型インフルエンザ対策についても事業継続計画に則り、適切に対応していきます。

*被害が大きい区域は、ガスの供給を停止することがあります。

広島ガスにおける対策（例）

- 行政や業界の基準に対応した耐震設計（製造設備・供給設備等）
- 耐震性の高い導管の導入（溶接鋼管、ポリエチレン管、メカニカル継手等）
- 導管網の区分化（ブロック化）による被害の最小化
- マイコンメーターの設置（ガス漏れや地震を感知してガスを自動的に遮断）
- 災害対策システムの構築・運用（安否確認・出動要請・想定被害等）
- 緊急措置要領の見直し、拡充
- 社員教育、地震訓練の実施等
- 新型インフルエンザ対策行動計画の見直し、事業継続計画の策定

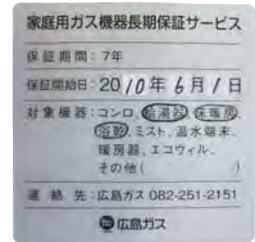


■お客さま先での安心・安全対策

当社では、お客さまのガス設備に対する法定保安点検の確実な遂行や、当社ホームページ等を通じた安全周知の強化に努めるとともに、家庭用ガスコンロ(卓上型一口コンロを除く)の全口に安全装置を搭載した「Siセンサーコンロ」をはじめとする安全型機器への取り替え促進、給排気設備の改善にも取り組んでいます。

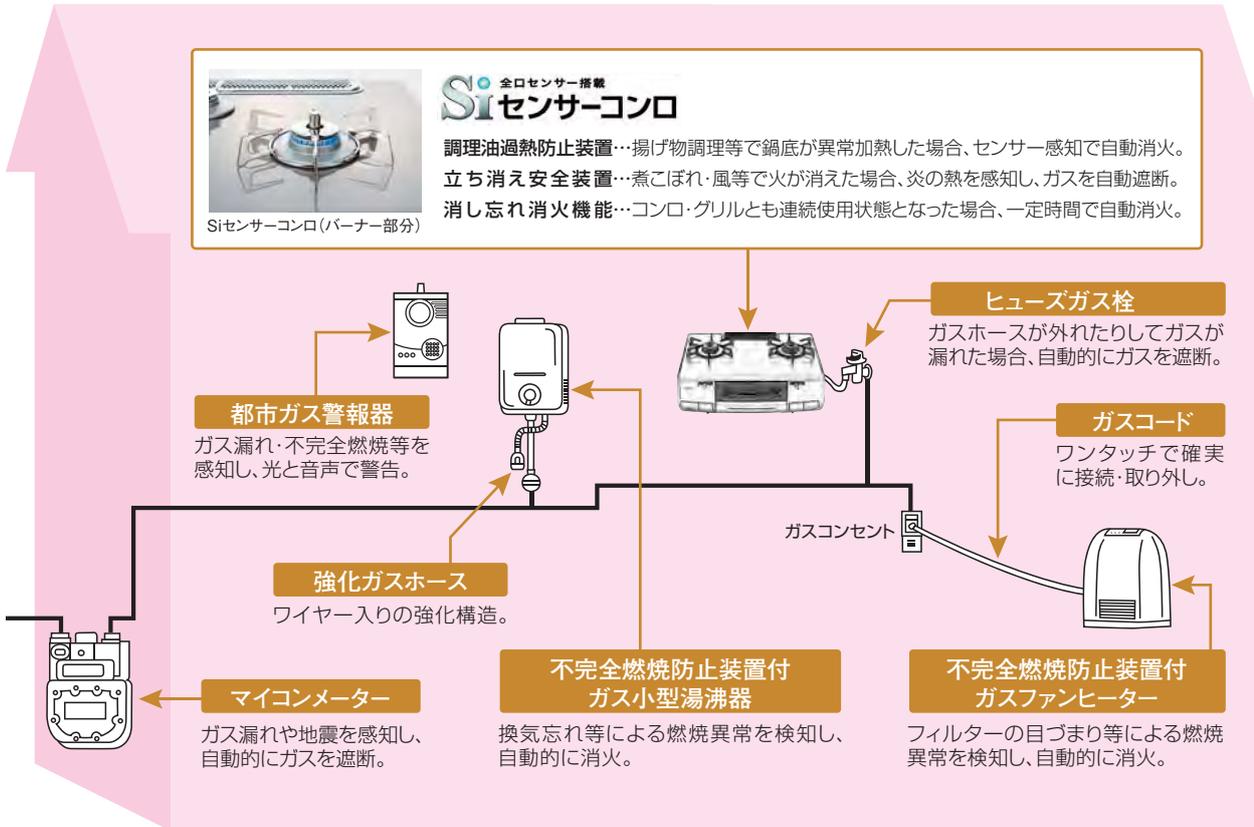
また、2010年からは、「家庭用ガス機器長期保証サービス*」を開始しており、ガス機器を長期間にわたり、より一層安心してお使い頂けるよう努めています。

※2010年6月1日以降に、当社およびガスショップにて保証対象となるガス機器を購入頂いた場合に適用



家庭用ガス機器
長期保証サービスステッカー

お客さま先ガス設備での安全機能(例)



■東日本大震災の復旧支援

2011年3月11日に発生した東日本大震災を受けて、当社グループは、99名の復旧支援隊を派遣しました。

当社グループの復旧支援隊は、全国57の応援事業者とともに、3月26日から休日返上で作業に取り組み、仙台市ガス局のエリアにおいて、ガス管の点検・修繕作業とともに、復旧対象約30万件の内、約2万件を開栓し、4月16日に仙台の復旧を完遂しました。



出発式



修繕作業



現場確認作業



開栓作業

都市ガス事業

都市ガス事業者

都市ガス事業者は全国に209事業者(2011年4月1日時点)が点在しています。この業界の特性から、全国8ブロック(北海道・東北・関東中央・東海北陸・近畿・中国・四国・九州)に(社)日本ガス協会*の「地方部会」が設置され、地方独自の活動も含めたさまざまな事業を行っています。

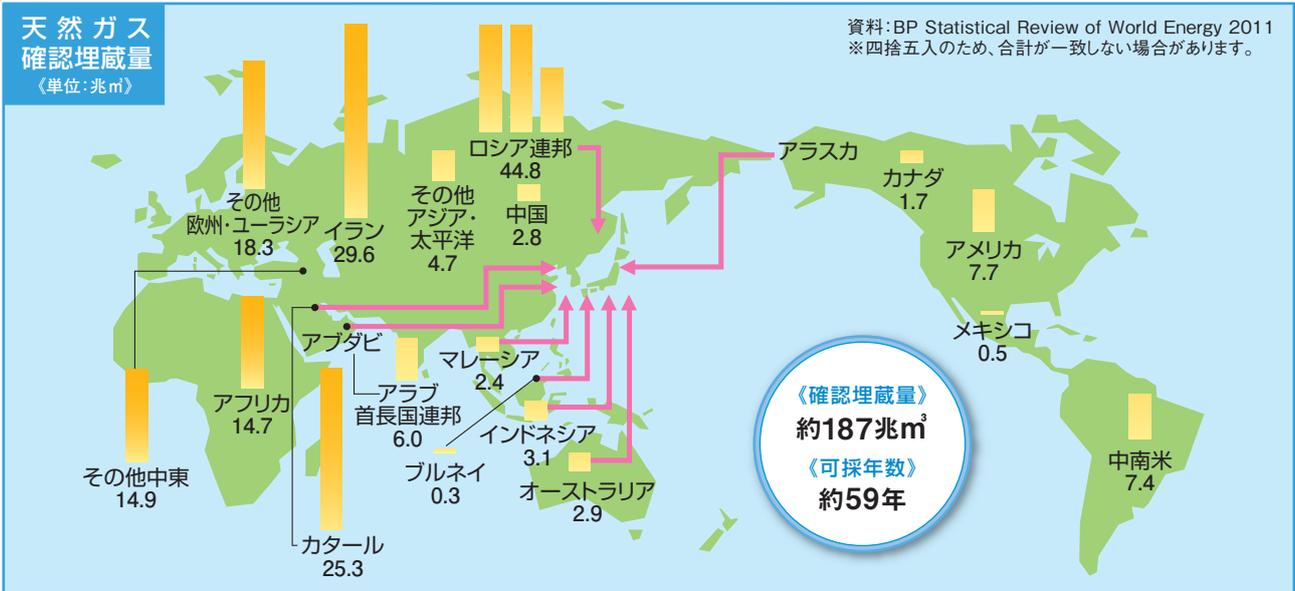
(社)日本ガス協会 中国部会・四国部会に所属する14事業者では、協力体制のもと、都市ガスの普及拡大に向けた取り組みを推進しています。

※(社)日本ガス協会
都市ガス事業の健全な発展を図るとともに、産業の振興と文化の進展に寄与することを目的とする都市ガス事業者の団体。

都市ガスの原料

都市ガスの原料には、LNG(液化天然ガス)と国産天然ガスの天然ガス系原料と、LPG(液化石油ガス)などの石油系原料があります。現在では都市ガスの原料構成の9割以上が天然ガス系となっています。

天然ガスは世界各地に豊富に存在し、可採年数は約59年と言われ、中東地域以外からも確保が可能なエネルギーです。わが国の都市ガス事業者は、主に環太平洋諸国から長期契約に基づいてLNGを輸入し、安定供給に努めています。



中国・四国地区の都市ガス事業者

2010年3月に、中国・四国地区14都市ガス事業者の天然ガスへの熱量変更作業が完遂しました。

天然ガスは、化石燃料の中で最もクリーンなエネルギーであり、供給安定性にも優れていることから、低炭素社会を支える重要なエネルギーとされています。

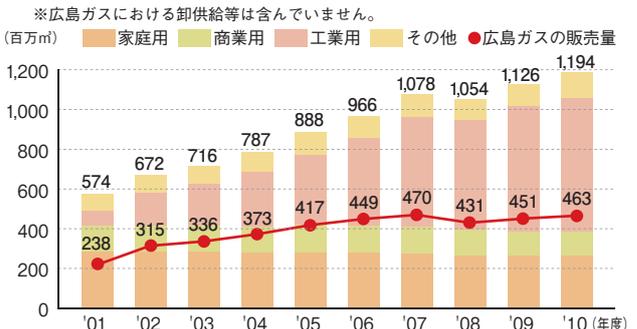
各事業者は、外航船や内航船、ローリー車など、地域の特性に応じた形態で原料のLNGを受け入れ、地域に根ざした提案活動を展開し天然ガスの一層の普及拡大に努めています。



中国・四国地区の都市ガス販売量

中国・四国地区のガス販売量が、全国に占める割合は約3.7%ですが、工業用需要の拡大により販売量を伸ばしてきました。また、当社の2010年度のガス販売量は全国ガス事業者の中では8番目、中国・四国地区ではトップで約39%を占めています。

過去10年間の中国・四国地区のガス販売量の推移



都市ガスの安定供給への取り組み

都市ガスは、電気・水道と並ぶ地域を支える重要なライフラインの一つです。その都市ガスを安定的に供給することが、広島ガスの大きな「社会的責任」であると考えています。そのため、原料であるLNGの調達・輸送から都市ガスの製造・供給に至るまで、国際情勢、エネルギー市場の動向および業界の動き等を注視しながら、さまざまな施策を講じています。

※各段階での安全対策の取り組み



LNG安定調達に向けた取り組み

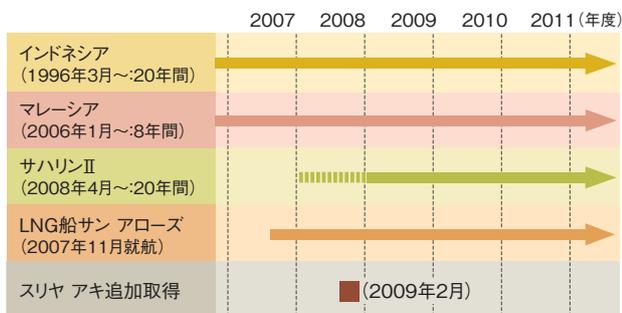
● LNG調達先の多様化

ここ数年、世界的規模で天然ガス需要は拡大していますが、当社においても都市ガスの需要増に対応するため、従来からの調達先であるインドネシアに加え、マレーシアからのLNG調達を2006年1月より開始しました。マレーシアとは、2005年度から8年間の契約を締結しています。

また、2009年4月よりロシア連邦の「サハリンⅡプロジェクト」からの受け入れも開始しました。「サハリンⅡプロジェクト」は、LNGの生産規模が年間960万tという大規模なプロジェクトで、当社では2006年4月に売買契約書に調印しました。この契約により、最大で年間21万tのLNGを調達することが可能となっています。

この結果、LNG調達先が多様化でき、より一層の供給安定性向上が期待できます。

◆ 広島ガスのLNG安定調達に向けた取り組み



● LNG調達コストの低減

当社のLNG輸送は、インドネシアからは「スリヤアキ」「スリヤサツマ」、サハリンからは「サンアローズ」で行っています。2004年12月には「スリヤアキ」の一部(約33%)を買い取り、さらに2009年2月には75%まで追加取得しました。サハリンは、日本から近距離で、比較的短期間に輸送できることから、効率的な原料調達が可能になります。本航路に就航する「サンアローズ」は、(株)商船三井と当社が共同保有しており、当社が主体的に運用することが可能となっているLNG船です。

これによって、より安定したLNG供給体制の確立と、将来にわたるLNG調達コストの低減が期待されています。



LNG船 サン アローズ

● 中国電力(株)との相互協力協定

地域における効率的かつ安定的な天然ガス普及を図るため、相互のLNGの調達・供給ならびに天然ガスの利用技術開発の分野において申し出がなされた場合、互いの協力を目的とする、相互協力協定を2006年6月に締結しています。

天然ガス供給体制の拡大

● 水島ステーションおよび導管を活用した卸供給の実施(瀬戸内パイプライン(株))

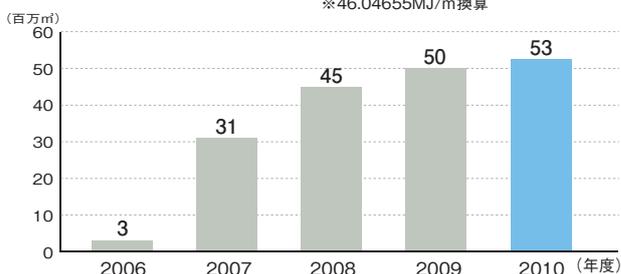
当社の連結子会社である瀬戸内パイプライン(株)の設備で、水島LNG基地から天然ガスを受け入れ、熱量調整等を行う設備「水島ステーション」および水島-福山間の導管(約40km)が2006年11月に完成しました。これにより、広島県東部等への天然ガス供給体制が整備され、2007年1月から当社が福山ガス(株)に卸供給を行っています。



水島ステーション(瀬戸内パイプライン(株))

◆ 卸供給等ガス販売量

※卸供給等は他ガス事業者への供給分です。
※46.04655MJ/m³換算



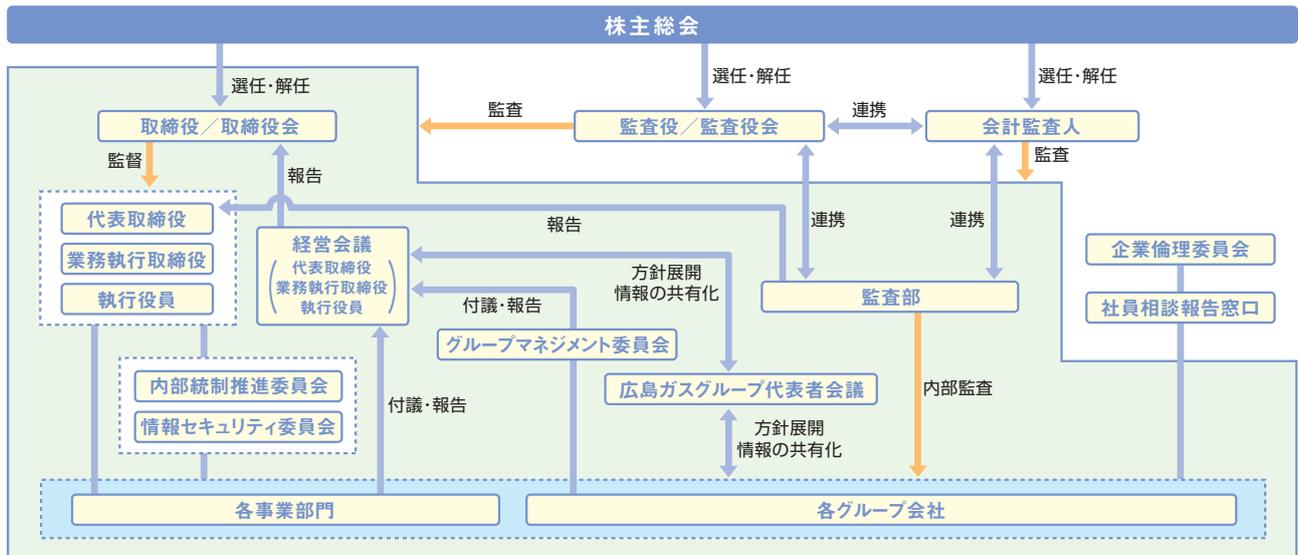
広島ガスグループの経営体制

コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

● 健全で透明な企業経営を行い、お客さま・地域社会・株主の皆さまの信頼にお応えします

当社グループは、「地域社会から信頼される会社をめざす」という広島ガスの経営理念のもと、継続的な企業価値の向上を図るべく、経営の健全性・透明性の確保に向けた実効性あるコーポレート・ガバナンスの充実に取り組んでいます。

● コーポレート・ガバナンス体制



● 経営組織の構造

経営管理体制

「取締役会」は、社外取締役4名を含む11名で構成され、原則として毎月1回、また必要に応じて開催しています。取締役会においては、業務執行に関する会社の意思決定を行うとともに、業務執行権限のある取締役の業務執行を監督しています。また、グループ会社の経営状況の報告も行われ、経営全般の監督を行っています。

「経営会議」は、取締役執行役員6名、社内監査役2名、執行役員4名で構成され、原則として月2回、また必要に応じて開催しています。経営会議においては、取締役会から委譲された範囲内で、代表取締役の意思決定を行うとともに、当社の経営統括本部長が委員長を務める「グループマネジメント委員会」から業務の執行状況および経営状況の報告を受け、グループ各社の経営の監督を行っています。

監査体制

「監査役会」は、社外監査役2名を含む4名で構成され、各監査役は、監査役会が定めた監査方針および監査計画等に基づき実施する調査や取締役会等の重要な会議へ出席し、業務および財産の状況調査を通じて、取締役の業務執行を監査しています。また、子会社については、必要に応じて子会社から営業の報告を求めるとともに、業務および財産の状況を調査しています。

監査部は年間監査計画等に基づき、業務活動が法令、内部規程等に則り適正かつ効率的に実施されているか監査し、その結果を社長および監査役に報告するとともに、社内組織に助言・勧告を行っています。

また、監査役、会計監査人および監査部は、監査方針および監査報告等について定期的に会合を持ち、意見交換等を行うことにより、相互の連携を高めています。

内部統制

● 内部統制システムの構築に関する基本方針

当社グループの事業は、都市ガス、簡易ガスおよびLPGのベストミックスによる安定的かつ安全なエネルギー供給を含む適正なサービスの提供を使命とする極めて高い公共性と社会的責任を有しているものと考えています。

この社会的使命を遂行し、お客さま、株主、投資家、従業員等のすべてのステークホルダーの信頼に応え、継続的な企業

価値の向上を図るため、「当社グループの業務の適正を確保するための体制(内部統制システム)の整備に関する基本方針」を2006年5月に取締役会で決議し、2009年10月に見直しを行い、それに基づいて、リスクマネジメント・コンプライアンス活動を推進しています。

■ 広島ガスグループのリスクマネジメント・コンプライアンス体制

当社グループでは、経営理念「地域社会から信頼される会社をめざす」を実現するため、下記のようなリスクマネジメント・コンプライアンス体制を構築し、グループ役職員が法令や社会的規範を順守し、良識ある公正な行動により、良き企業市民として地域社会から支持されることをめざしています。

● 行動規範の策定

当社グループでは、職務執行の基準となる各種の「業務規程」や「広島ガスグループ社員行動指針」を策定するとともに、日常業務の中で遭遇するであろういくつかの場面について、問題点を取り上げ解説した「事例に学ぶコンプライアンス」を研修教材として活用することなどにより、適正な業務遂行に役立てています。

● 継続的な教育

当社グループでは、定期的にコンプライアンス教育を実施することにより、当社グループ役職員にコンプライアンス意識を根付かせ、法令違反等を許さない企業風土を醸成しています。さらに、グループウェア「内部統制掲示板」や「グ

● 推進体制

当社グループでは、リスクマネジメント・コンプライアンス推進のための担当部署として、内部統制推進部を設置するとともに、内部統制推進委員会やグループマネジメント委員会を設置し、各部門で実施しているリスクマネジメント・コンプライアンス施策の推進状況を管理しています。また、社長および2名の社外弁護士からなる企業倫理委員会を設置し、コ

● 各種リスクへの対応

【自然災害等によるリスクへの対応】

当社グループでは、ガス供給の安定性・安全性を阻害するような大規模な自然災害等によるリスクに対しては、予め規程化している「地震等防災対策要領」に従い、災害・事故発生時の緊急情報連絡体制・指揮命令体制等を整備しており、定期的な想定訓練を実施し、被害拡大の最小化を図っています。

【情報漏洩等によるリスクへの対応】

当社グループでは、情報漏洩等によるリスクに対しては、「情報セキュリティポリシー」に従って、情報セキュリティ委員会を中心とした体制を構築し、個人情報の取り扱いに関する社内啓発活動をはじめ、情報漏洩事故の発生防止に努めるとともに、発生時における情報開示等のあり方についても規程化し、機動的な対応を図っています。

【業務遂行上に発生するリスクへの対応】

当社グループでは、業務遂行上に発生するリスクに対しては、各部門ごとにリスクを識別・分析・評価し、対策案を作成・実施することにより、リスク発生の未然防止を図っています。また、リスク発生時には、内部統制推進部や内部統制推進委員会が中心となって、迅速な問題解決を図るとともに、リスク発生要因等を分析し、再発防止を図っています。

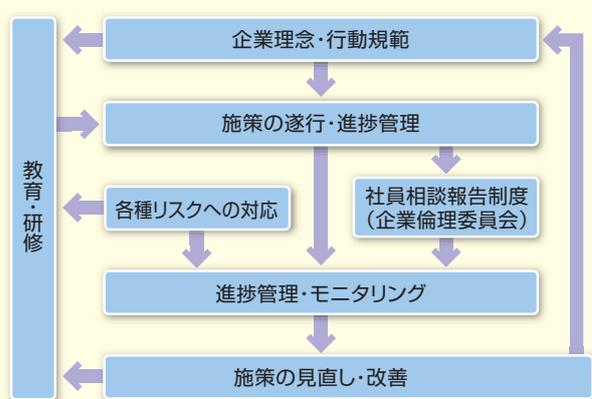
● モニタリング体制

当社グループでは、グループ内部監査を実施するため、社長直轄の組織である監査部を設置し、当社各部門およびグループ各社の業務実態等について、監査スケジュールに基づいた監査を実施しています。また、業務遂行におけるセル

● グループ各社との連携

当社グループでは、「グループ人事交流方針」を策定し、この方針に基づいたグループ各社間での人事交流を実施することにより、リスクマネジメントや連携の強化を図っています。また、グループ各社への監督機能を図るため、「グループ

【リスクマネジメント・コンプライアンス体制の循環サイクル】



ープ広報誌（GASLAND）」を通じた情報の発信や「広島ガスグループ社員行動指針」、「コンプライアンスカード」の配布等、リスクマネジメント・コンプライアンス意識の維持・向上に努めています。

ンプライアンス施策の決定ならびに制度の運用状況の把握と是正策について協議できる体制を整備するとともに、当社グループ社員が、直接、企業倫理委員会の委員等に相談・報告することができる「社員相談報告制度」を導入し、自浄機能の強化を図っています。

フチェック機能の強化を図るため、CSA活動（自己統制評価活動）への継続的な取り組みを実施しており、部門ごとに「セルフチェックリスト」を作成・評価し、その評価結果をもとに監査部による往査を実施しています。

マネジメント委員会」を設置し、グループ各社より「広島ガスグループ会社運用規程」に基づいて上程される業務執行に関する事案について事前に審議を行うなど、リスクの未然防止を図っています。

2011年度事業計画の概要（中期経営計画含む）

3カ年計画「2020年ビジョン実行中期経営計画」を実施していきます。

2020年ビジョン実行中期経営計画（2010～2012年度）の2年目となる2011年度は、スローガンを「アクションプランの展開」と掲げ、ビジョン実行に向けた施策を着実に実施していきます。



経営方針

継続的なグループ企業価値の向上を図る

経営方針 1

ガス体エネルギー（天然ガス・LPガス）の普及拡大とエネルギーの高度利用を基軸として、低炭素社会の実現に貢献する

【取組内容】

- ガス体エネルギーの普及拡大、エネルギーの高度利用および再生可能エネルギーとのベストミックスの推進
- 家庭用市場への経営資源の重点的な配分による営業活動の充実
- 業務用市場における、供給エリア外も含めた広域エリアでの需要開発の推進

経営方針 2

お客さま目線でのサービスのあり方を追求し、環境にやさしく快適な生活を創造し、お客さま価値の向上を図る

【取組内容】

- お客さま接点業務の充実等によるサービス品質の向上
- 電気や熱を含めたマルチエネルギー供給の推進
- 営業・サービス・保安活動推進のための基盤整備・支援活動の充実
- 保安対策の計画的実施と効率的な設備更新の実施

経営方針 3

グループ全体の収益性を高め、健全で強靱な企業グループを構築する

【取組内容】

- 財務体質、財務リスクマネジメントの強化
- 効率的な事業運営と統制環境の強化に資するグループ機能の見直し
- 経費・投資における効率的かつ効果的な投入

経営方針 4

公正かつ透明で風通しのよい組織へ変革し、地域の好感度No.1企業をめざす

【取組内容】

- コンプライアンスとリスクマネジメント活動の推進
- 人権活動の推進とコミュニケーションの向上
- 地域との共生、地域の活性化に資する活動の推進
- 低炭素社会の実現を含めた環境保全活動の推進

経営方針 5

グループの成長を担う人材の育成を推進する

【取組内容】

- 人材育成・開発、モチベーション向上策等の推進
- ワークライフバランスの推進
- グループワイドな人材マネジメントの実施

ガス需給計画(2011~2013年度)

 (46.04655MJ/m³換算)

		実績		計画		
		2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	
お客さま件数(年度末)		418千件	417千件	416千件	415千件	
ガス販売量 (百万m ³)	家庭用	105	104	104	104	
	業務用	商業用	50	52	53	54
		工業用	269	264	267	269
		その他	38	36	37	37
	合計(卸供給等を除く)	463	458	462	465	
	卸供給等	53	55	58	63	
総合計	517	513	521	528		

※端数処理の関係上、各項目の合計値は一致しない場合があります。 ※卸供給等は他ガス事業者への供給分です。

●家庭用

給湯暖房システムや暖房器等のガス機器拡販およびお得な家庭用選択約款の普及拡大を図るとともに、個々のお客さまのニーズに沿った提案活動を一層強化していくことにより、家庭用販売量の維持に努めています。

特に、既設のお客さまへの接点強化・サービス向上活動に取り組むとともに、家庭用燃料電池「エネファーム」や太陽光発電の普及促進等により、お客さまの望まれる製品・サービスの提供を図っていきます。

■ 家庭用重点機器販売目標(2011年度)

給湯暖房システム(熱源機ベース)	2,720台
暖房器	4,140台
エネファーム(成約ベース)	110台

●業務用

お客さまの環境意識の高まりから天然ガスへの評価は高く、省エネ機器の提案等お客さまのニーズに沿った営業活動の推進により、新規物件の獲得および既設物件のリニューアル営業を展開していきます。

また、供給エリア内の深耕およびエリア外も含めた広域エリアの新規需要開拓について検討を進めていきます。

設備投資計画(2011~2013年度)

■ 設備投資計画

(単位:億円)

	実績	計画			
	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	3年間合計
製造設備	2	9	25	59	94
供給設備	29	36	31	32	99
業務設備等	3	15	2	2	19
合計	35	60	59	94	213

※端数処理の関係上、各項目の合計値は一致しない場合があります。

天然ガスの普及拡大に対応し、安定供給体制を確保するため、製造設備および供給設備の増強・改修・入替等、製造・供給インフラの整備を計画的・効率的に行っていくとともに、経年本支管対策を一層強化します。

製造設備については、従来の小型LNG船と併用して標準LNG船の受入れが可能となるよう、廿日市工場の棧橋機能拡大工事に着手します。

また、広域的な基幹インフラ整備についても中長期的な視点で検討を進めていきます。

保安対策の強化

お客さまに安心してガスをご利用いただくために、ガス事故防止に向けた保安対策を継続していきます。

項目	具体的内容
(1) 経年本支管対策の強化	<ul style="list-style-type: none"> ● ねずみ錆鉄管: 2015年(日本ガス協会目標)までに取り替え実施 ● 白ガス管: 計画的に取り替え実施
(2) 経年埋設内管(お客さま資産)対策の計画的な実施	<ul style="list-style-type: none"> ● 鉄筋系集合建物等について、2015年(日本ガス協会目標)までの改修をめざし改善交渉を推進
(3) 給排気設備の改善、安全型機器への取り替え促進	<ul style="list-style-type: none"> ● 消費段階での事故防止の観点から、法定点検・安全周知の強化に努めるとともに、給排気設備の改善および安全型機器への取り替え活動を推進
(4) 業務用厨房における保安対策強化	<ul style="list-style-type: none"> ● 業務用厨房等における一酸化炭素中毒事故の防止をめざし、「業務用換気センサー」の設置を推進

業績概要(連結)

2期ぶりの増収、3期連続の経常増益

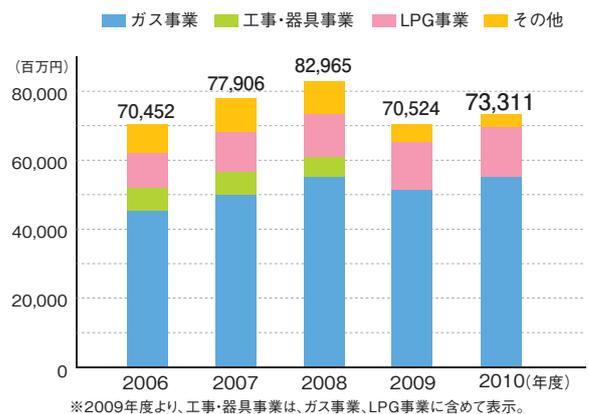
当期の売上高は、都市ガス販売量の増加や原料費調整制度に基づく販売単価の上昇等により、前期に比べ2,786百万円増加の73,311百万円となりました。

利益につきましては、経営全般にわたる効率化に努めたこと等により、経常利益は852百万円増加の3,959百万円、当期純利益は523百万円増加の2,606百万円となりました。

売上高および利益の推移



事業の種類別売上高の推移



事業の種類別セグメント情報(2010年度)

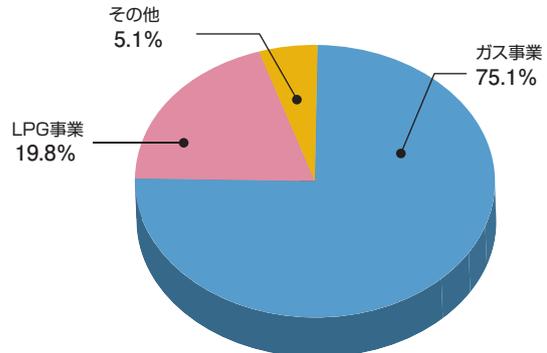
(単位:百万円)

	売上高	営業利益
ガス事業※	55,322 [+6.8%]	2,650 [54.3%]
LPG事業※	14,657 [+3.5%]	674 [△17.4%]
その他※	5,007 [△21.7%]	160 [+81.9%]
調整額※	△1,676	296
連結	73,311 [+4.0%]	3,782 [+23.3%]

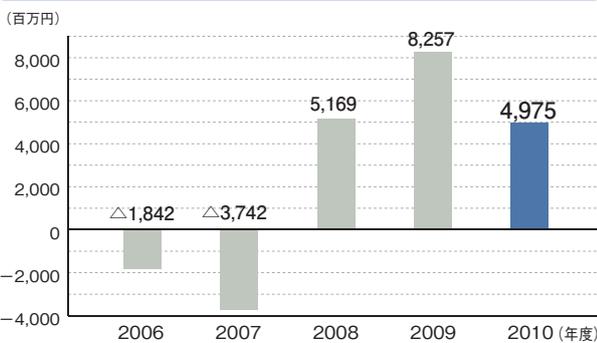
※各セグメントの数値は百万円未満を切り捨て、従って各項目の総額がセグメント毎の合計と一致しない場合があります。

※〔 〕内は対前年比です。

事業の種類別売上高構成比(2010年度)

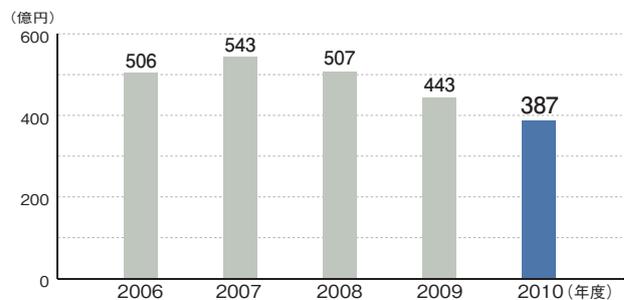


フリーキャッシュフローの推移



フリーキャッシュフロー = 営業活動によるキャッシュフロー - (有形固定資産取得による支出額 + 無形固定資産取得による支出額)

有利子負債残高の推移



各区分に属する
主要な製品の名称



※ガス事業…都市ガスの製造・供給および販売、他ガス事業者等への卸供給等

※LPG事業…LPGの販売、LPG充填業務、LPG機器の販売等

※その他…管工事を中心とした建設工事、エンジニアリング事業、労働者派遣業務

業績概要(単体)

2期ぶりの増収、2期ぶりの経常増益

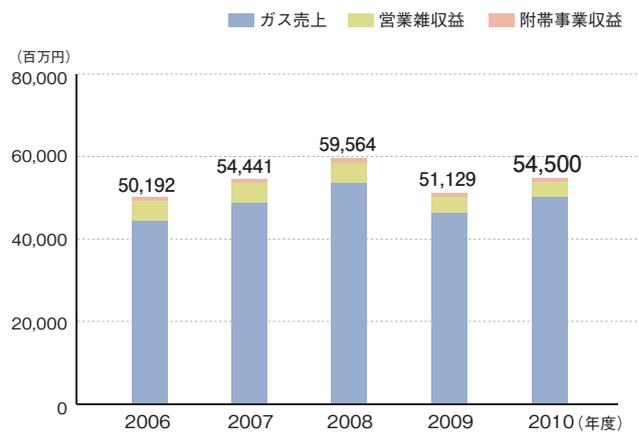
当期の売上高は、ガス販売量の増加に加え、原料費調整制度に基づく販売単価の上昇等により、前期に比べ3,370百万円増加の54,500百万円となりました。

その結果、経常利益は前期に比べ970百万円増加の2,437百万円、当期純利益は980百万円増加の1,938百万円となりました。

売上高および利益の推移



区分別売上高の推移



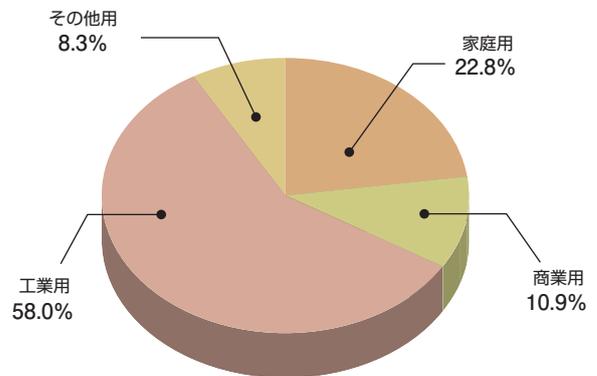
ガス販売量の推移と平均伸び率

(単位: 千m³、46.04655MJ/m³換算)

	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	平均伸び率
家庭用	109,732	107,391	104,038	104,014	105,732	△0.9%
商業用	60,393	60,894	55,857	49,874	50,600	△4.3%
工業用	242,579	264,963	237,495	263,215	269,094	2.6%
その他用	36,646	37,401	34,537	34,094	38,433	1.2%
計	449,352	470,651	431,928	451,199	463,860	0.8%
卸供給等	3,767	31,102	45,728	50,025	53,554	94.2%
総計	453,119	501,753	477,656	501,224	517,415	3.4%

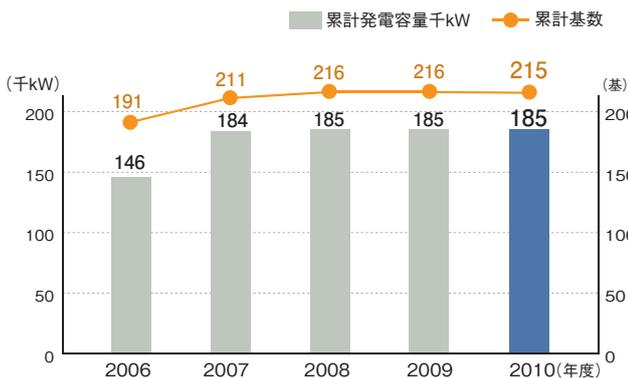
※端数処理の関係上、各項目の合計値は一致しない場合があります。

ガス販売量用途別構成比(2010年度)

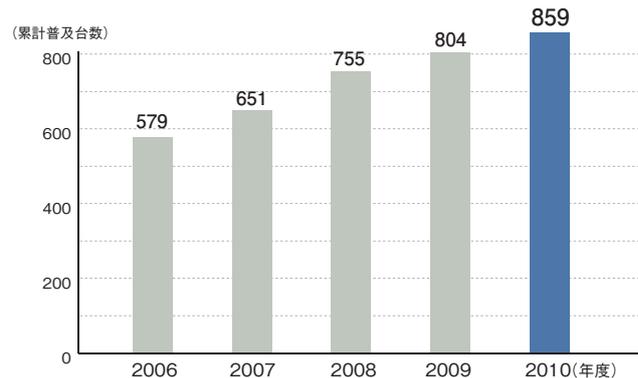


※卸供給等は含めずに算出しています。

ガスコージェネレーションシステム導入の推移(業務用)



天然ガス自動車の累計普及台数(広島ガス供給エリア内)



環境分野

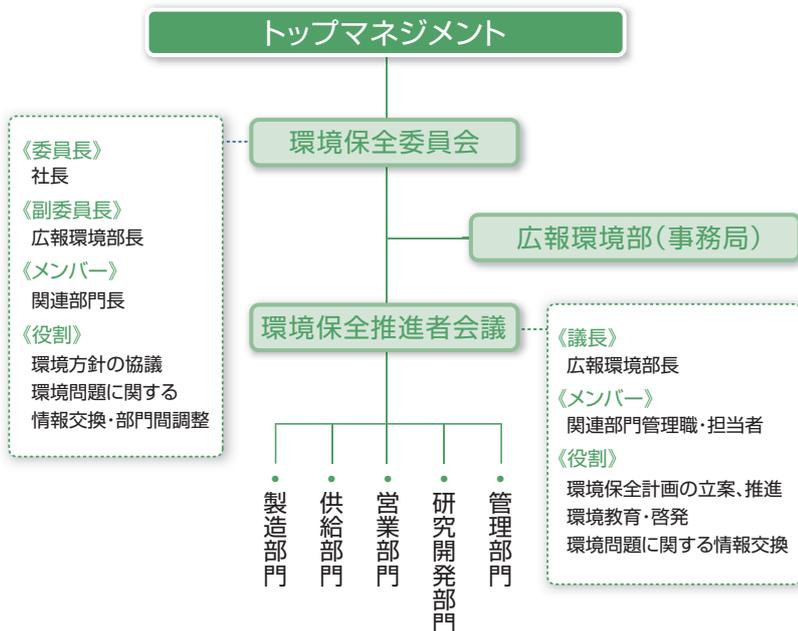
低炭素社会構築をめざし
クリーンエネルギー天然ガスの高度利用を基軸として
環境保全を推進していきます。

環境保全活動の基本的な考え方

広島ガスは、1993年度に環境基本理念および環境行動指針を策定し、環境マネジメントシステム(EMS)により全社で環境保全活動を推進しています。環境保全活動は、関係会社を含めた企業グループ全体で推進することにより、一層大きな改善効果が期待できることから、2005年度に「広島ガスグループ環境基本理念」および「広島ガスグループ環境行動指針」を制定し、広島ガスグループとして環境保全への取り組みを推進しています。



環境活動推進体制 (2011年6月24日現在)



ISO14001認証取得

廿日市工場は、環境マネジメントシステムの一環として1999年度ISO14001の認証を取得(審査登録機関: 財団法人日本ガス機器検査協会JIA-QAセンター)しました。2001年度には1999年度操業を開始した備後工場が、2009年3月には2006年度操業を開始した東広島製造所においても拡大審査に合格し、当社の都市ガス製造工場全て認証取得が完了しています。



ISO14001登録証・付属書

環境マネジメントシステムの運用

◎PDCAサイクルに沿って環境保全活動をきめ細かく推進しています。

当社の環境マネジメントシステムは、従来から運用しているTQM(総合的品質経営)をベースに、環境保全活動をPDCAサイクルに沿って推進しています。環境保全活動を含めた中期経営計画の策定(P)、各部門改善活動の実施(D)、環境保全委員会等でチェック(C)、トップヒアリングでの見直し(A)等により、継続的なレベルアップをめざしています。



広島ガス長期環境目標(2011-2015年度)

環境保全活動を効果的に推進するために、広島ガスでは環境行動指針に対応した長期環境目標を設定し活動を進めております。2008年度に一部見直しをした現行の長期環境目標は2010年度が最終年度となるため、2011年2月に、2015年度までの新しい長期環境目標を設定しました。

環境行動指針	長期環境目標	単位	最終年度	各年度の目標値				
				2011	2012	2013	2014	2015
1 お客さま先での環境負荷の低減	1-1 お客さま先でのCO ₂ 排出量を、2015年度に20万t-CO ₂ 以上抑制する	千t-CO ₂	200以上	185以上	185以上	190以上	195以上	200以上
	2-1 当事業活動(都市ガス製造時)におけるCO ₂ 排出原単位を、2015年度まで50g-CO ₂ /m ³ (販売ガス量)を維持する	g-CO ₂ /m ³	50	50以下	50以下	50以下	50以下	50以下
2 事業活動における環境負荷の低減	2-2 事業所(オフィス)におけるCO ₂ 排出量を、2009年度に比べて2015年度に240t-CO ₂ 以上削減する	削減量 t-CO ₂	▲240以上	▲170	▲200	▲220	▲230	▲240
	2-3 低公害車(天然ガス自動車、低排出認定ガソリン車等)を、2015年度までに当社全車両に導入する	導入割合 %	100	80以上	85以上	90以上	95以上	100
	2-4 産業廃棄物最終処分量(製造部門)を、2015年度まで1t以下を維持する	t	1以下	1以下	1以下	1以下	1以下	1以下
	2-5 ガス導管工事から発生する掘削土量を、2015年度まで従来工法に比べ35%以上削減を維持し、再資源化率を85%以上にする	削減率% 再資源化率%	35以上 85以上	35以上 80以上	35以上 80以上	35以上 80以上	35以上 85以上	35以上 85以上
	2-6 2015年度に一般廃棄物の発生を、2001年度に対し50%以上削減し、再資源化率を80%以上にする	削減率% 再資源化率%	50以上 80以上	50以上 65以上	50以上 70以上	50以上 75以上	50以上 78以上	50以上 80以上
3 地域環境保全への貢献	3-1 各事業所において、地域と一体となった環境保全活動を実践する	-	-	-	-	-	-	-

環境目標および実績

環境保全活動を効果的に推進するために2002年度、環境行動指針に対応した広島ガス長期環境目標および3年間の中期環境目標を設定し活動を進めてきました。“事務所(オフィス)におけるCO₂排出量を削減する新たな目標”の追加を含め、2008年度以降を見直した2010年度までの長期環境目標を、2007年度に設定しています。

2010年度は、現行の長期環境目標の最終年度となりました。

★目標を達成した項目のマークです。

環境行動指針	広島ガス長期環境目標	広島ガス長期環境目標 2010年度 目標・実績	
<p>1.お客さま先での環境負荷の低減 広島ガスグループは環境負荷軽減に寄与する製品・サービスの提供を推進し、お客さま先での環境負荷の低減に努める。</p>	<p>お客さま先でのCO₂排出量を、2010年度に18万t-CO₂以上抑制する。</p>	<p>(万t-CO₂)</p> <p>↑ 18.0 19.3</p> <p>↑ 良い</p>	▶ P.29
<p>2.事業活動における環境負荷の低減 広島ガスグループの事業活動が環境に与えている負荷を軽減するとともに、環境マネジメントの強化を図り、ゼロエミッションをめざした3R(廃棄物等の発生抑制、再利用、再資源化)を積極的に推進する。</p>	<p>当社事業活動(都市ガス製造時)におけるCO₂排出原単位を、2010年度に50g-CO₂/m³(販売ガス量)以下にする。</p>	<p>(g-CO₂/m³)</p> <p>↓ 50 47.9</p> <p>↓ 良い</p>	▶ P.31
	<p>事務所(オフィス)におけるCO₂排出量を、各年55t-CO₂削減する。</p>	<p>(t-CO₂)</p> <p>↑ 55 97</p> <p>↑ 良い</p>	▶ P.31
	<p>低公害車(天然ガス自動車・燃料電池自動車等)を、2010年度に当社全車両に導入する。</p>	<p>(%)</p> <p>↑ 100 86</p> <p>↑ 良い</p>	▶ P.30
	<p>産業廃棄物最終処分量(製造部門)を2010年度に1t以下にする。</p>	<p>(t)</p> <p>↓ 1 0.3</p> <p>↓ 良い</p>	▶ P.31
	<p>ガス導管工事から発生する掘削土量を、2010年度に従来工法に比べ35%以上削減し、再資源化率を70%以上にする。</p>	<p>掘削土量削減率 再資源化率</p> <p>↑ 35 37 70 97</p> <p>↑ 良い</p>	▶ P.32
	<p>2010年度に一般廃棄物の発生を、2001年度に対し50%以上削減し、再資源化率を65%以上にする。</p>	<p>一般廃棄物削減率 再資源化率</p> <p>↑ 50 54 65 74</p> <p>↑ 良い</p>	▶ P.31
<p>3.地域環境保全への貢献 広島ガスグループが事業活動を営む地域の環境保全活動に、積極的に取り組む。</p>	<p>各事業所において、地域と一体となった環境保全活動を実践する。</p>		

環境会計

事業活動における環境保全のためのコストとその活動による効果を定量的に把握するのが環境会計です。広島ガスでは、環境に関わるコストと効果を、環境省の「環境会計システムの確立に向けて〈2000年報告〉」をベースにした(社)日本ガス協会の「都市ガス事業における環境会計導入の手引き」(2002年10月改定)に基づき集計しました。

2010年度集計結果

●環境保全コスト

(単位:百万円)

環境保全コスト項目			投資額		費用額	
主な内容(例)			2009年度	2010年度	2009年度	2010年度
自 社 業 務	公害防止	大気汚染、水質汚濁、騒音等の防止のための設備投資額、維持管理費、減価償却費、人件費等	0	5	13	10
	地球環境保全	省エネルギー、エネルギー有効利用、オゾン層保護等のための設備投資額、維持管理費、減価償却費、人件費等(主要内容:廿日市工場ガスコージェネレーション稼働)	157	35	96	55
	資源循環	掘削残土削減、再資源化、廃棄物管理等のための設備投資額、維持管理費、減価償却費、人件費等	2	8	64	63
	環境マネジメント	グリーン購入、環境教育、EMS構築、環境対策組織等のコスト	0	0	23	23
	その他	工場立地法や条例に基づく工場の緑化等(主要内容:旧海田工場・旧阿賀工場土壌浄化工事)	3	0	47	49
お客さま先	環境R&D	環境負荷低減技術、高効率機器・システム開発のための研究開発コスト	5	15	36	36
社会貢献活動	自主緑化、景観保持、自然保護、美化地域の環境活動支援、環境広告、環境情報公表等	5	0	23	23	
合 計			172	64	302	260

※2010年度費用額のうち減価償却費は、63百万円計上されています。 ※環境R&Dとは、研究開発コストのうち環境保全のためのものです。
 ※算定期間:2010年4月~2011年3月 算定範囲:広島ガス株式会社

- ①投資額は、2009年度が本社ビル改装等により大きく増加したため、昨年と比べ減少しました。
- ②費用は、昨年度発生した特別償却(LED照明設備、太陽光発電設備)が発生しなかったため、昨年度より減少しました。

●効果

■環境負荷水準

環境負荷水準	2009年度	2010年度
NOx原単位(製造) (mg/m ³)	41	45
CO ₂ 原単位(製造) (g-CO ₂ /m ³)	47	48
CO ₂ 原単位(オフィス) (g-CO ₂ /m ³)	6	6
掘削発生土外部排出量 (千t)	5	3
産業廃棄物発生量 (t)	184	209
一般廃棄物発生量 (t)	90	76
(参考値) お客さま先でのCO ₂ 抑制量 (千t-CO ₂)	188	194

■企業内経済効果 (単位:百万円)

経済効果	2009年度	2010年度
掘削発生土外部排出量削減に伴う経費削減額	265	274
有価物の売却額	0	0
その他 (燃料ガス使用量削減による経費削減額)	148	162
その他 (電力使用量削減による経費削減額)	0	1
合 計	413	436

■全社設備投資額における環境設備投資額比率

	2009年度	2010年度
全社設備投資額 (百万円)	3,708	3,556
環境設備投資額比率 (%)	4.6	1.8

■全社総売上高における環境費用額比率

	2009年度	2010年度
全社総売上高 (百万円)	51,129	54,500
環境費用額比率 (%)	0.6	0.5

- ①昨年度に引き続き、ガス導管工事で排出された土砂の再資源化の促進等により、掘削発生土の外部排出を抑えることができ、経費削減を果たすことができました。
- ②その他は、太陽光発電やLED照明の採用による購入電力削減分です。

環境効率について

当社は、環境保全活動の取り組みの評価の一つとして、企業活動と環境保全がバランスし両立している状況を把握する指標である環境効率を採用しています。

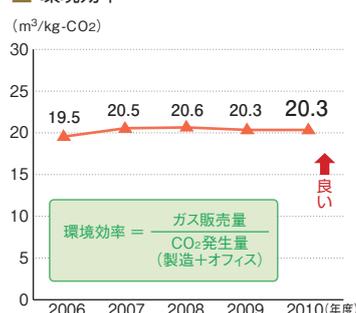
2010年度の環境効率は、前年度並みとなり、環境への取り組みは順調であると評価できます。

■環境効率試算結果

項目	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
ガス販売量 (百万m ³)	453	501	477	501	517
CO ₂ 発生量(製造) (千t-CO ₂)	20	21	20	21	22
CO ₂ 発生量(オフィス) (千t-CO ₂)	3	3	3	3	3
環境効率 (m ³ /kg-CO ₂)	19.5	20.5	20.6	20.3	20.3

※1 2004年度より天然ガスを燃料としたガスコージェネレーションシステムを稼働しましたが、経営指標をガス販売量に限定しているため、電力発電(売電用)に伴い発生するCO₂量は除いています。
 ※2 購入電力のCO₂排出係数は2008年度までは、0.555(kg-CO₂/kWh)を使用しています。2009年度以降は、中国電力の実排出係数を使用しています。
 ※3 四捨五入の関係で、表示と計算値に差異が生じています。

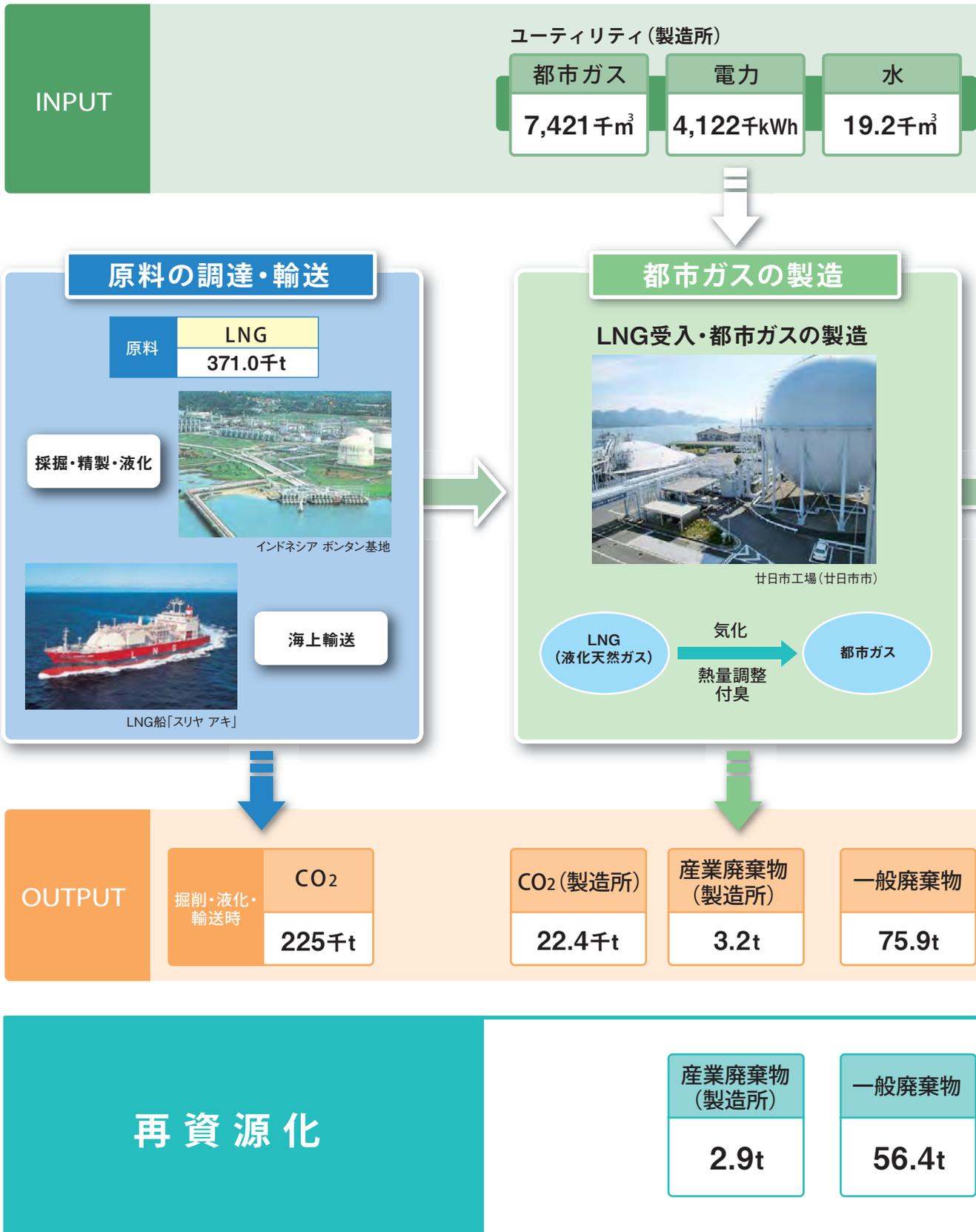
■環境効率



環境分野

事業活動における環境負荷（2010年度実績）

2010年度の広島ガスの事業活動における主な環境負荷についてまとめました。



環境保全活動におけるお取引先との関係

廿日市工場・備後工場・東広島製造所においては、LNG船、LNGローリー等の役務提供者および購買先に対して、環境保全活動（サプライチェーン・マネジメント等）への協力を依頼しています。

- 環境保全に関する覚書
- 安全環境教育
- 協力依頼カード

ユーティリティ（事業所）

都市ガス

309千m³

電力

3,327千kWh

水

23.3千m³

エネルギーの使用によりCO₂が発生しますが、クリーンエネルギー天然ガスの優れた特長を活かし、他燃料から天然ガスへの転換、ガスコージェネレーションシステムおよび高効率ガス機器の普及等を推進することで、環境保全に貢献しています。

都市ガスの供給

導管（パイプライン）
総延長

4,879km



ガスホルダー



ガス管橋

お客さま先で

ガス販売量

517百万m³

● 家庭用



厨房、給湯等

● 商業用



ホテル、ビル、学校等

● 工業用



工場等

● 天然ガス自動車



トラック・バス・乗用車等

CO₂（事業所）

3.1千t

産業廃棄物
（事業所）

205.7t

掘削土

110千t

PE管

5.0t

鋳鉄管・鋼管

134.1t

お客さま先

CO₂

1,221千t

産業廃棄物
（事業所）

156.9t

掘削土

107千t

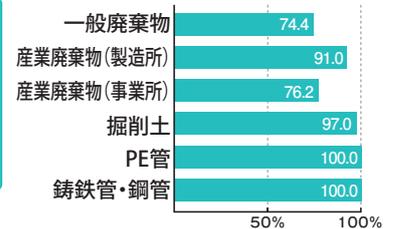
PE管

5.0t

鋳鉄管・鋼管

134.1t

《減量化・再資源化率》



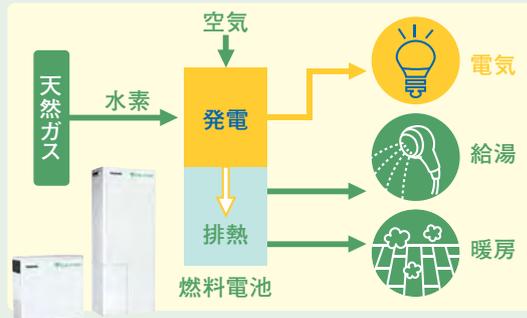
お客さま先での環境負荷の低減

天然ガス高効率利用の促進

家庭用高効率機器の普及

◎家庭用燃料電池「エネファーム」(累計販売台数39台)

天然ガスから取り出した水素と空気中の酸素を燃料電池で化学反応させて発電し、その際に出る熱を給湯や暖房に利用するコージェネレーションシステム。



エネファーム

ご家庭に届くエネルギー利用率

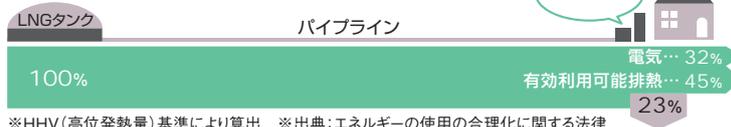
◎従来のシステムによる発電 [1次エネルギー(石炭・石油・天然ガスなど)]



《エネルギー利用率》



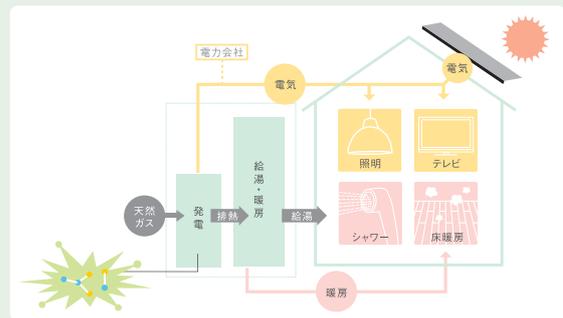
◎マイホーム発電 [1次エネルギー(天然ガス)]



他の化石燃料と比べてCO₂排出量が最も少ないクリーンなエネルギー天然ガス。エネファームはその天然ガスを原料として自宅発電するため送電ロスがなく、同時に発生する熱も給湯や暖房に利用できるためにエネルギー利用効率が約77%(発電:32%排熱利用:45%)と高い、無駄を抑えた環境に優しいシステムです。

◎W発電—「省エネ住宅から創エネ住宅へ」

太陽の光エネルギーで発電する太陽光発電。クリーンさは最大の魅力ですが、夜間は稼働せず、雨天時は電力低下する等、不安定さが課題です。そこで、エネファームと組み合わせるW発電により、太陽光発電の弱点を補い、さらに経済的で効果的な「創エネルギー住宅」をつくれます。



◎家庭用ガスエンジン コージェネレーションシステム 「エコウィル」(累計販売台数416台)

小型ガスエンジンで発電機を回して発電し、その際に出る熱を給湯や暖房に利用するコージェネレーションシステム。

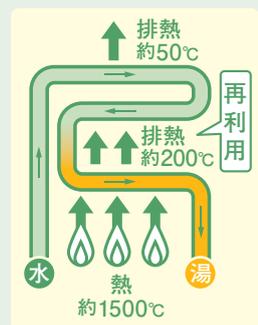


◎高効率給湯器「エコジョーズ」 (累計販売台数11,272台)

今まで捨てていた排熱をコンデンス技術を使って再利用し、熱効率を80%から95%まで引き上げた高効率給湯器。



高効率給湯器エコジョーズ



業務用高効率設備・機器の普及

● 涼しい厨房機器「涼厨®」



「涼厨®」は大阪ガス株式会社登録商標です。

ガスの炎は美味しい料理のなよりのスパイス。しかし、料理する人にとって、厨房の暑さは悩みのタネです。そこで、広島ガスでは暑さの原因を根本から考えた「涼厨®」（低放射型ガス厨房機器）をご提案しています。



「涼厨®」は、ガスならではのメリットを活かし、涼しく快適な厨房環境を実現させています。

● ガスコージェネレーションシステム普及の推移（業務用）



広島工業大学 新講義棟
「三宅の森 Nexus21」

ガスコージェネレーションシステム……都市ガスを燃料としてガスタービンやガスエンジン・燃料電池などで発電を行い、その時に発生する排熱を有効利用し、冷暖房・給湯等を行うシステムです。投入したエネルギーをムダなく使うことができるため、省エネルギー効果が大きく、CO₂発生量の抑制にも効果があります。

● その他環境特性に優れた設備・機器の普及

- 低NO_x機器の普及
- ガス吸収式冷温水機によるオゾン層の保護
- エコデザイン機器の普及

天然ガスの普及促進によるCO₂発生抑制

天然ガスおよび高効率ガス機器の普及等により、CO₂発生量の抑制に貢献しています。

お客さま先でのCO₂排出量・抑制量



環境関連新技術の研究開発

技術研究所では、環境に優しい天然ガスの普及により、人と環境とエネルギーの調和した快適な暮らしをお客さまにご提案するため、エネルギー高効率利用および再生可能エネルギーの利活用等に係わる技術開発を積極的に進めています。



工業用省エネ型バーナーの開発
(2008年 社団法人日本ガス協会技術賞受賞)
(2010年 社団法人日本機械工業連合会主催 優秀省エネルギー機器表彰 会長賞受賞)



バイオガス専燃コージェネレーションシステムの開発
(ロータリーエンジン)

天然ガス自動車の普及促進

天然ガス自動車(NGV)は、ガソリンや軽油の代わりにクリーンな天然ガスを燃料に走行する自動車です。その排出ガスには、発ガン性が指摘されている黒煙(粒子状物質)や酸性雨の原因となる硫黄酸化物を排出せず、地球温暖化の原因となるCO₂もガソリン車に比べて低く抑えることができます。

● 街で活躍する天然ガス自動車



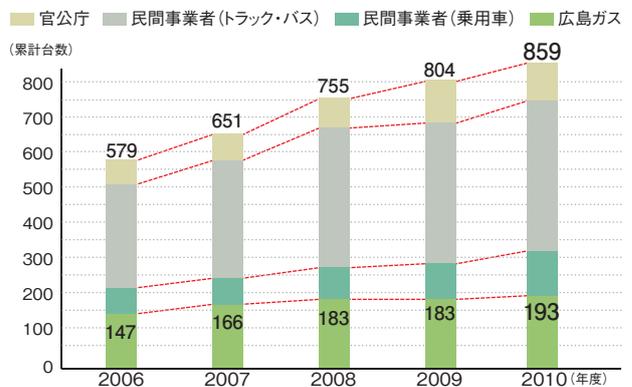
路線バス



トラック

天然ガス自動車の普及状況

天然ガス自動車累計普及台数(広島ガス供給エリア内)



◆ 全国の天然ガス自動車および天然ガススタンドの普及状況 (2011年3月末現在)

天然ガス自動車数 全 国… 40,429台 天然ガススタンド 全 国… 333カ所
広島地区… 859台(内数) 広島地区… 9カ所(内数)

事業活動における環境負荷の低減

■ 事業所における省エネと資源の有効活用

省エネ機器の導入(LED照明)

2008年度に本社会議室に試験導入したLED照明を、2009年度から3カ年をかけて全事業所への導入を計画し実施しております。2010年度は、本社ビルの全照明、ならびに廿日市工場のLED化を実施し、省エネの推進を図りました。



LED照明(本社ビル)

エコオフィス活動の推進

事務所におけるCO₂排出削減、廃棄物排出の削減等を推進しています。

1.エネルギー消費の低減

電気の節電、水の節約、公共交通機関の利用促進、クールビズ、ウォームビズの実践(空調温度)

2.資源消費の低減

紙の使用削減と再資源化、グリーン購入の推進、ノーマイカー運動への参加(広島市「マイカー乗るまっだー運動」への参加)

3.廃棄物の発生抑制と適正処理

ごみの分別強化、リサイクル推進

2010年度には、廃棄予定のユニフォームをリサイクルして、「エコ軍手」を製作し、廃棄物の削減を果たしました。



エコ軍手

一般廃棄物の削減と再資源化

当社では、エコオフィス活動の推進により一般廃棄物の削減と再資源化を図っています。

- 活動例
- ◆用紙使用量の削減(帳票の電子化)、紙ごみの再資源化
 - ◆使用済み割り箸を製紙会社で再資源化(本社社員食堂)
 - ◆生ゴミ処理機によるゴミの肥料化(本社社員食堂)

事業所の省エネ(太陽光発電パネルと屋上緑化)

本社ビルでは、2006年1月に屋上庭園(300㎡)を設け、ヒートアイランド現象の緩和を図るとともに、社員の憩いの場として活用してまいりました。2009年度には本社ビルに8.4kW、ガストピア五日市に4kWの太陽光発電パネルを設置しました。(2010年度の総発電量は約8,350kWh)

さらに、2010年度には呉支店(5kW)、尾道支店(5.3kW)に太陽光発電パネルを設置しました。

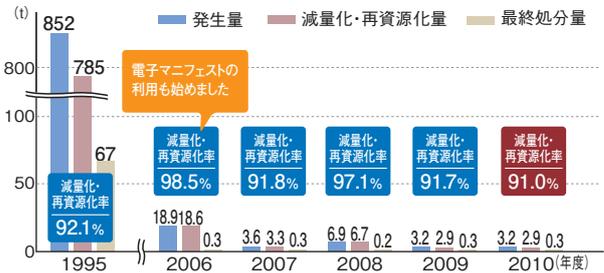


太陽光発電パネル(本社ビル屋上)

産業廃棄物の削減と再資源化

原料を天然ガスに転換したことにより、製造所からの産業廃棄物排出量は激減しました。

■ 産業廃棄物(製造所)の減量化・再資源化



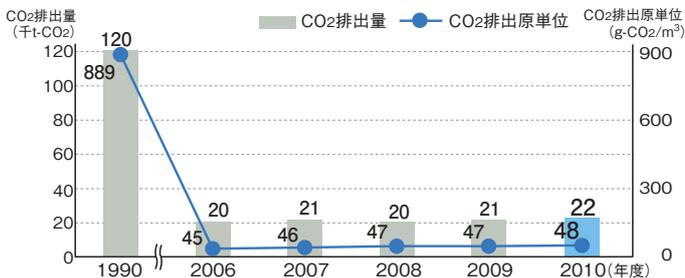
- ◆廃蛍光管を再資源化しリサイクル蛍光管として再利用
- ◆お客さまから回収した使用済みガス機器の再資源化
- ◆電子マニフェスト採用(2007.3~廿日市工場)

■ 製造所におけるエネルギー有効利用

2004年9月、廿日市工場にガスコージェネレーションシステムを導入し、発電した電力を廿日市工場で使用するとともに、約10kWの余剰電力はPPS(特定規模電気事業者)*等に卸売供給をしています。また、排熱はLNG気化用熱源としての活用により燃料が削減できると同時にCO₂も削減する等、エネルギー有効利用とCO₂排出量の抑制が一層進んでいます。

2010年度のCO₂発生量は、天然ガス転換による効果と合わせて、1990年度に比べ9.8万t、81.7%削減できました。

■ 都市ガス製造におけるCO₂排出量



ガスコージェネレーションシステム(廿日市工場)

● 廿日市工場ガスコージェネレーションシステム概要

- 発電容量 11,000kW(高効率天然ガスエンジン5,500kW×2基)
- 送電容量 最大10,000kW(特別高圧22kV)
- 総合効率 約78%(発電効率42%、熱回収効率36%)
- 運転形態 DSS(Daily Start & Stop)運転(昼間運転)

※PPS(特定規模電気事業者)

電力の自由化対象のお客さまに対し、電力会社の送電線等を通じて電力の小売を行う新規参入者

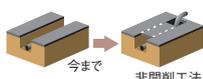
ガス導管工事における排出物削減と再資源化

新工法の採用、再資源化の推進等によりアスファルト・コンクリート・土砂等の排出量の削減に努めています。

ガス導管工事における掘削土の削減と再資源化

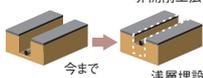
◆非開削工法による掘削土の削減

道路を掘らないでガス導管を埋設する工法



◆浅層埋設による掘削土の削減

道路に埋設するガス導管の深さを従来より浅く埋設する工法



◆掘削土の直接埋め戻しまたは再資源化処理し再利用

ガス導管工事で排出された土砂のうち、良質のものまたは再資源化したものを埋め戻しに使用

これらの取り組みにより、山砂などの採掘量を減らし、生態系への影響を低減しています。

掘削土処理状況



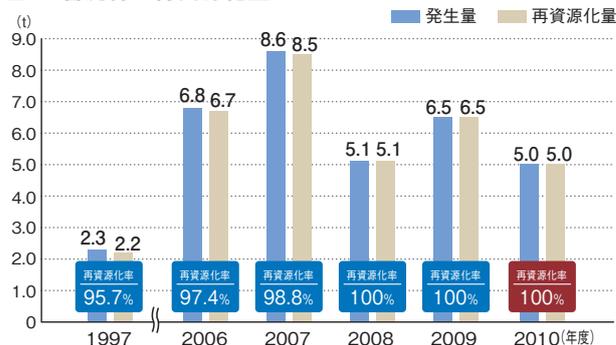
ポリエチレン管の普及促進と廃材の再資源化

ガス導管には耐食性・可とう性に優れ地震にも強いポリエチレン管(PE管)を1989年から採用しています。また、不要になったPE管は100%再資源化しています。



PE管の残管置場

PE管廃材の再資源化量



環境に関する規制遵守 2010年度、環境に関する法令違反や罰則はありませんでした。

化学物質の管理

◆アスベスト使用状況調査とその対応

当社および関係会社5社は、アスベストに関する健康被害状況と自社所有建物および設備等における使用状況を調査しました。その結果、健康被害はありませんでしたが一部使用が確認され、その内、吹き付け部が露出している1カ所のアスベスト除去を2005年10月に完了しました。調査結果は2005年9月に公表するとともに、適切に対応を行っています。

◆PCB(ポリ塩化ビフェニール)の管理

トランス、コンデンサー等に使用されていたPCBは保管場所を決め集積・管理し、行政へ管理状況を報告しています。

◆PRTR法^{*}への対応

化学物質の取り扱い量は、天然ガス転換により激減し、2010年度は、規定量の届出物質はありませんでした。

^{*}PRTR法

特定の化学物質を規定量以上取り扱った際に排出・移動量を届け出る事を定めた法律

省エネ法^{*}・地球温暖化対策推進法への対応

改正された「省エネ法」ならびに「温対法」に基づき、エネルギー管理統括者等の選任、ならびに当社全事業所を対象とした中長期計画書および定期報告書を監督官庁である中国経済産業局長に提出しました。

今後とも、法令に基づきエネルギーの省エネおよび有効活用を努めてまいります。



定期報告書



中長期計画書

^{*}省エネ法:事業者全体の1年度間のエネルギーを一定規模以上使用している事業者は、そのエネルギー使用量を国へ届け出て、特定事業者の指定を受け、定期的に報告等を行う事を定めた法律

土壌調査とその対応

当社は、天然ガス転換完了を機に石炭を主原料としていた旧海田工場ならびに旧阿賀工場の製造設備跡地の土壌調査を自主的に行った結果、砒素、シアン等による汚染が判明しましたので、2003年12月に公表するとともに近隣の皆さまへの説明を行いました。調査の結果からも周辺的生活環境への影響はないものと考えておりますが、将来にわたる周辺への影響を防止するため対策工事を実施し、2004年度に完了しました。その後も両用地とも地下水モニタリングを実施しており、海田工場跡地(海田基地)につきましては、揚水井戸、水処理装置を使用して、揚水による浄化を継続しています。



水処理装置(海田基地)

地域環境保全への貢献

地域清掃活動

「自分たちの街は自分たちの手できれいに」をスローガンに、毎月1回各事業所周辺の美化活動を実施しています。

また、2010年5月には、ひろしまフラワーフェスティバル会場で開催された清掃活動「ひろえば街が好きになる運動」、7月には「クリーン太田川河川一斉清掃」等、地域の美化活動にも参加しました。



事業所周辺清掃



クリーン太田川河川一斉清掃

環境教育・環境啓発活動

行政・学校・地域と連携して、環境教育活動を推進しています。また、ショールームにおいては、エネファーム、エコジョーズをはじめとした省エネ型のガス機器の展示・紹介をはじめ、エコ・クッキング講習等を開催しております。

年月	名称	内容
2010.6	比治山女子短期大学環境教育	<ul style="list-style-type: none"> 「地球環境問題」について 「広島ガスの環境への取り組み」について
2010.8	先生方のためのエネルギー環境問題セミナー・見学会	<ul style="list-style-type: none"> 「広島ガスの環境への取り組み」について 「エコ・クッキング」実習 施設見学「ガストピアセンター」「廿日市工場」
2010.11	御手洗学級(廿日市市宮内)にて講演	<ul style="list-style-type: none"> 「広島ガスの環境への取り組み」について
年間を通じて	出前授業 サイエンスショー	(社会分野)を参照ください



先生方のためのエネルギー環境問題セミナー・見学会

各種環境フェア等への出展

地域で開催される環境イベント等に積極的に参加し、当社の環境への取り組みや、省エネガス機器・天然ガス自動車などの紹介、サイエンスショーなどを行っています。

年月	名称	内容
2010.6	環境の日ひろしま大会	<ul style="list-style-type: none"> サイエンスショー、省エネガス機器・天然ガス自動車展示
2010.9	ひろしまバスまつり	<ul style="list-style-type: none"> 天然ガス自動車展示
2010.10	「温暖化に挑む・環境シンポジウム」	<ul style="list-style-type: none"> パネル展示(エネファーム等)
	ひろしまトラックまつり	<ul style="list-style-type: none"> 天然ガス自動車展示
2010.10	2010温暖化ストップ!フェア in ひろしま	<ul style="list-style-type: none"> 「高効率給湯器」展示、サイエンスショー
	わが町の温暖化対策エコレシポオーディション	<ul style="list-style-type: none"> 審査員として参画



環境の日ひろしま大会

地域環境保全推進団体・環境啓発事業への参画

広島県の行政・団体・企業により構成されている各種の環境保全推進組織に委員等として参画し、環境啓発・教育・イベント等を支援しています。

団体・事業	事務局	支援活動
ひろしま地球環境フォーラム	広島県	イベント支援等
広島県青少年ボランティア活動推進委員会	広島県	青年の地域貢献活動支援事業「チャレンジファンド」協賛
広島市地球温暖化対策地域協議会	広島市	イベント支援
地球温暖化対策はつかいちさくら協議会	廿日市市	工場見学等
廿日市エコサポーターズクラブ	廿日市市	工場見学等
広島修道大学環境コンテスト	広島修道大学	環境コンテスト「修大エコチャレンジ」後援
中国地域エネルギー・温暖化対策推進会議	中国経済産業局	イベント支援等

■ 広島ガス本社がエコ通勤優良事業場として認定(2009年7月)(国土交通省・公共交通利用推進等マネジメント協議会)



修大エコチャレンジ

生物多様性の保全活動

植樹による環境保全

廿日市工場および備後工場では、地域自然環境に配慮した緑地づくりをめざした取り組みを行っています。NOxの吸収能力に優れたヒマラヤ桜を栽培し、2000年スペースシャトル「エンデバー」に宇宙飛行士毛利衛さんと一緒に搭乗した宇宙桜(エゾヤマザクラ)の苗木を2005年に植樹しました。



ヒマラヤ桜



宇宙桜

地域での保全活動への参加(エヒメアヤメ生息地下草刈り)

三原市に自生しているエヒメアヤメは、国の天然記念物に指定されており、毎年4月下旬には紫色の可憐な花を咲かせます。その自生地保存のために地元保全会が中心となって下草刈りのボランティア活動が行われており、今年も3月6日に開催されました。当社もこの活動に9名が参加しました。



エヒメアヤメ下草刈り

環境家計簿への取り組み

地球環境への取り組みは、会社活動以外にも社員一人一人が家庭でのCO₂削減に取り組むことが必要です。(社)日本ガス協会は、社員の家庭でのCO₂削減への取り組みを推進するため2010年度からWebによる「環境家計簿」をスタートさせました。「環境家計簿」は、日常の生活から地球温暖化の原因となるCO₂をどのくらい排出しているか把握するためのもので、電気やガスなどの使用量を入力すれば自動でCO₂排出量が計算されます。目的は、毎月のCO₂排出量を把握することによって、利用者の省エネ意識を高めることにあります。

当社もこの活動に参加し、家庭でのCO₂削減に取り組んでおります。



環境家計簿

広島ガスグループにおける環境関連事業

LPGタンカー窒素パージ事業(広島ガスサービス株)

広島ガスサービス株は、LPGタンカーのパージ事業を広島ガス海田基地内で実施しています。

事業開始当初は、カーゴタンク内LPG残ガスの80%を海上で大気放出し20%を燃焼処理していましたが、現在はLPG回収設備を設置し、回収したLPGはほぼ全量を都市ガスの増熱用原料として活用しています(年間約400t)。

従来燃焼処理していた約100tのLPGを有効利用することにより、CO₂発生量は年間約300t-CO₂削減し、温室効果ガス排出の削減に貢献しています。



LPGタンカー窒素パージプラント

廃棄物のリサイクル設備の建設(広島ガステクノ株)

広島ガステクノ株は、有機物を含む産業廃棄物を資源循環出来る有価物に変える乾留炭化設備を開発しました。本方式は、廃棄物の有効活用ばかりでなくCO₂の排出削減にもつながる地球環境に優しい方式で、14年前から今日までに製紙汚泥や屑ゴム、海生廃棄物などを対象に国内で10基を納入しております。

広島ガステクノ株は、この件で廃棄物削減に大きく貢献した実績が評価され、2010年に財団法人・クリーン・ジャパン・センターの「資源循環技術・システム表彰」において「CJC会長賞」を受賞いたしました。



製紙汚泥の再資源化処理設備

環境活動の歩み

環境活動年表



環境省ガイドライン対照表

「環境報告ガイドライン」 ～2007年版～

<記載項目>

〈広島ガスCSR報告書 2011〉
掲載ページ

1. 基本的項目:BI

BI-1 経営責任者の緒言	3~4
BI-2 報告に当たっての基本的要件	
BI-2-1 報告の対象組織・期間・分野	1,裏表紙
BI-2-2 報告対象組織の範囲と環境負荷の捕捉状況	—
BI-3 事業の概要(経営指標を含む)	11~22
BI-4 環境報告の概要	
BI-4-1 主要な指標等の一覧	11~12,19~22,26,28,31~32,36
BI-4-2 事業活動における環境配慮の取組に関する目標、計画及び実績等の総括	25
BI-5 事業活動のマテリアルバランス(インプット、内部循環、アウトプット)	27~28

2. 環境マネジメント指標:MPI

MP-1 環境マネジメントの状況	
MP-1-1 事業活動における環境配慮の方針	23~25
MP-1-2 環境マネジメントシステムの状況	23~24
MP-2 環境に関する規制の遵守状況	32
MP-3 環境会計情報	26
MP-4 環境に配慮した投資の状況	26
MP-5 サプライチェーンマネジメント等の状況	27~28
MP-6 グリーン購入・調達状況	25,36
MP-7 環境に配慮した新技術、DIE等の研究開発の状況	25,30
MP-8 環境に配慮した輸送に関する状況	25,30
MP-9 生物多様性の保全と生物資源の持続可能な利用の状況	32~34
MP-10 環境コミュニケーションの状況	25,33~34,37~40,43~44
MP-11 環境に関する社会貢献活動の状況	25,33~34,37~40
MP-12 環境負荷低減に資する商品・サービスの状況	25,27~30

3. オペレーション指標:OPI

OP-1 総エネルギー投入量及びその低減対策	27~28,31,36
OP-2 総物質投入量及びその低減対策	27~28,36
OP-3 水資源投入量及びその低減対策	27~28,32,36
OP-4 事業エリア内で循環的利用を行っている物質等	31~32,34,36
OP-5 総製品生産量又は総商品販売量	27~28,36
OP-6 温室効果ガスの排出量及びその低減対策	25,27~32,36
OP-7 大気汚染、生活環境に係る負荷量及びその低減対策	36
OP-8 化学物質の排出量、移動量及びその低減対策	32
OP-9 廃棄物等総排出量、廃棄物最終処分量及びその低減対策	25,27~28,31~32,36
OP-10 総排水量等及びその低減対策	—

4. 環境効率指標:EEI

環境配慮と経営との関連状況	26
---------------	----

5. 社会パフォーマンス指標:SPI

社会的取組の状況	
① 労働安全衛生に関する情報・指標	42
② 雇用に関する情報・指標	41
③ 人権に関する情報・指標	42
④ 地域及び社会に対する貢献に関する情報・指標	33~34,37~40
⑤ 企業統治(コーポレートガバナンス)・企業倫理・コンプライアンス及び公正取引に関する情報・指標	17~18
⑥ 個人情報保護に関する情報・指標	18
⑦ 広範な消費者保護及び製品安全に関する情報・指標	13~14,44
⑧ 企業の社会的側面に関する経済的情報・指標	—
⑨ その他の社会的項目に関する情報・指標	—

環境データ

			2008年度 (H20)	2009年度 (H21)	2010年度 (H22)		
お客さま先	お客さま	お客さま件数	425,977	422,866	418,977		
	大気	お客さま先でのCO ₂ 排出					
		排出量 (t-CO ₂)	1,127,275	1,182,889	1,221,099	抑制量は、天然ガス転換およびガススコージェネレーションシステムの普及等による	
		抑制量 (t-CO ₂)	180,780	188,034	193,481		
事業活動に伴うもの	原料・製品	原料LNG量 (千t)	354.5	362.3	371.0		
		原料LPG量 (千t)	1.2	1.3	1.2		
		増熱LPG量 (千t)	10.2	22.5	24.8		
		ガス販売量 (百万m ³)	卸供給含む	477.6	501.2	517.4	
			卸供給含まず	431.9	451.1	463.8	
		ガス化効率 (%)	99.0	99.0	99.0		
	エネルギー	購入電力使用量 (千kWh)	製造所	4,514	4,086	4,122	
			オフィス	3,245	3,194	3,327	
			合計	7,759	7,280	7,449	
		都市ガス使用量 (千m ³)	製造所	6,434	7,074	7,421	
			オフィス	332	288	309	
		合計	6,766	7,362	7,730		
	用水	用水使用量 (千m ³)	製造所	16.3	16.3	19.2	
			オフィス	24.1	22.1	23.3	
			合計	40.4	38.4	42.5	
	用紙	使用枚数 (千枚)	3,831	4,232	3,965		
		大気・水質	都市ガス製造時のCO ₂	排出量 (t-CO ₂)	—	21,449	22,388
				(20,219)	(20,962)	(—)	
	排出原単位 (g-CO ₂ /m ³)			—	47.2	47.9	※1
			(46.8)	(46.1)	(—)		
	抑制量 (t-CO ₂)		—	332,666	343,166	※1	
	(317,194)		(333,153)	(—)			
	NOx 排出量 (t)		18.3	18.5	20.9		
	メタン 排出量 (t-CH ₄)		11	11	14		
オフィスでのCO ₂	排出量 (t-CO ₂)		—	3,189	3,092	※1	
			(2,905.3)	(2,808)	(—)		
	排出原単位 (g-CO ₂ /m ³)	—	6.4	6.0	※1		
		(6.1)	(5.6)	(—)			
廃棄物等	一般廃棄物	発生量 (t)	82.9	90.3	75.9		
		再資源化量 (t)	57.9	66.5	56.4		
		再資源化率 (%)	69.9	73.6	74.4		
		外部排出量 (t)	24.9	23.8	19.4		
		最終処分量 (t)	0.2	0.3	0.3		
	産業廃棄物 (製造所)	発生量 (t)	6.9	3.2	3.2		
		減量化・再資源化量 (t)	6.7	2.9	2.9		
		減量化・再資源化率 (%)	97.1	91.7	91.0		
		最終処分量 (t)	0.2	0.3	0.3		
	産業廃棄物 (事業所)	発生量 (t)	183.4	180.6	205.7		
		減量化・再資源化量 (t)	170.9	162.8	156.9		
		減量化・再資源化率 (%)	93.2	90.1	76.2		
		最終処分量 (t)	12.5	17.8	48.9		
	ポリエチレン管	発生量 (t)	5.1	6.5	5.0		
		再資源化量 (t)	5.1	6.5	5.0		
		再資源化率 (%)	100.0	100.0	100.0		
	鋳鉄管・鋼管	発生量 (t)	146.1	132.7	134.1	ガス工事会社分を含む。	
		再資源化量 (t)	146.1	132.7	134.1		
		再資源化率 (%)	100.0	100.0	100.0		
	ガス管工事に伴う掘削土	発生量 (千t)	118	109	110	ガス工事会社分を含む。	
削減量 (千t)		52	57	63	(抑制量は、非開削工法の採用および、浅層埋設の採用等による。)		
削減率 (%)		30.8	34.2	36.5			
再資源化量 (千t)		104	104	107			
再資源化率 (%)		88.0	95.5	97.0			
再資源化率 (%)		88.0	95.5	97.0			
天然ガス自動車	普及台数 (台)	乗用車	337	347	366	普及台数は、広島ガス管内での値を示す。	
		トラック	349	373	396		
		塵芥車	34	39	44		
		バス	35	45	53		
		合計	755	804	859		
	社内導入台数 (台)	183	183	193	社内導入台数は、上記の内数を示す。		
	グリーン購入	購入率 (%)	89.0	89.0	60.4		
CO ₂ 排出係数	都市ガス	13A	(kg-CO ₂ /m ³ N)	2.36	2.36	2.36	※2
	購入電力	全電源平均値	(kg-CO ₂ /kWh)	0.555	0.555	—	※3
		火力平均値 (マージナル電源)	(kg-CO ₂ /kWh)	0.690	0.690	0.690	※4
		中国電力(株) 実排出係数	(kg-CO ₂ /kWh)	—	0.674	0.628	※5

※1. 購入電力CO₂排出係数は、中国電力(株)の実排出係数(H21:0.674t-CO₂/kWh H22:0.628t-CO₂/kWh)を使用。()内は従来の平均値0.555t-CO₂/kWhを使用。
 ※2. 当社の都市ガス(13A)の代表的な組成から算出 ※3. 特定排出者の事業活動に伴う、温室効果ガスの排出量の算定に関する省令(2006.3 経済産業省 環境省令 第3号)
 ※4. 中央環境審議会目標達成シナリオ小委員会中間まとめ(2001.6) ※5. 電気事業者別実排出係数・調整後排出係数の公表について(2010.12 環境省)

社会分野

地域の皆さまとともに、持続可能な社会の実現にむけた取り組みを推進していきます。

地域社会との関わり(芸術・文化、地域、スポーツ振興)

広島ガスは、企業市民としてさまざまな社会貢献活動を実施しています。活動にあたっては、「芸術・文化振興」「地域振興」「スポーツ振興」「教育支援(P39～40)」の4分野を軸に展開しています。

芸術・文化、地域振興

「第24回広響ホットコンサート」を開催

お客さま、地域の皆さまに日ごろの感謝の気持ちを込めて

中・四国唯一のプロオーケストラである「広島交響楽団(広響)」。その広響のサポートと地域に貢献させていただくことを目的に、広響ホットコンサートを毎年9月に開催しています。

24回目となる2010年度は、広島市文化交流会館にて「ニコライ×ショパン×シューマン～三大巨匠生誕200年に寄せて～」と題し、ソリストにピアノの仲道祐子氏、指揮者には藤岡幸夫氏を迎え、公募ご招待の1,200人を

含む約1,700人のお客さまに、華麗な19世紀ロマン主義の真髄を堪能いただきました。



演奏の様子



コンサートの様子

ひろしまフラワーフェスティバルへの参加・神楽フェスティバルへの特別協賛

地域の皆さまとともに、地元の活性化にむけて

毎年5月3日～5日に開催され、全国でも有数の来場者数(2011年度:約169万人)を誇るひろしまフラワーフェスティバルに参加しています。

2011年度は、新たにステージを設けて、より多くの皆さまに楽しんでいただけるようさまざまなグループに登場いただくとともに、2008年から始まった神楽フェスティバルが、引き続き「安芸高田4団共演でガス」と銘打って開催され、当社は特別協賛し地域文化活動の支援も行いました。

また、環境保全の観点から、JT(日本たばこ産業(株))が主催する清掃活動にも参加、他の企業とも協力して、きれいな街づくりに貢献いたしました。



GAS LANDブース



神楽フェスティバル



JT清掃活動への参加

「広島インドネシア協会」における活動(国際交流)

当社は、広島とインドネシア共和国との友好信頼関係を高めるとともに、両国間の文化の向上と経済の発展に寄与する交流の推進を目的として、約230の法人・個人会員のご支援のもと、1996年から広島インドネシア協会の事務局をしています。またインドネシアは当社の天然ガス主要輸入先であり、エネルギーを通じての縁があります。

年間行事として、総会、インドネシア独立記念祭、講演会の3つの全体行事を柱に、その他インドネシア料理教室、インドネシア語講座等の活動を行なっています。

各種活動において、広島県内の大学に在籍しているインドネシア留学生との交流を深めています。



行事の様子



インドネシア料理教室



スポーツ振興

広島ガスバドミントン部における地域のスポーツ振興にむけた取り組み

バドミントン講習会の実施

当社バドミントン部は、広島県内の小学校等を訪問し、バドミントンの講習会を開催、地域の子どもたちにバドミントンを通してスポーツの楽しさを伝えています。

2010年度は、約1,000人が講習会に参加しました。



講習会

地域の各種イベントへの参加

同部は、「トップスひろしま*」の一員としても、地域のさまざまなイベントに参加しています。

イベント参加の際には、トップスひろしまのPR(トップス所属全チームのグッズ展示やサイン会)に努めるとともに、ひろしまフラワーフェスティバルにおいては、パレードへの参加も行うなど、イベント全体の盛り上がりにも一役買えるよう取り組んでいます。



ひろしまフラワーフェスティバル参加のトップスひろしまメンバーと

広島ガスバドミントン部

1995年3月に創部した女子実業団チーム。現在、日本リーグ1部に所属(2011年現在)。日本リーグ以外にも、全日本実業団選手権をはじめ、多くの舞台で活躍している。

※トップスひろしま

広島の主なスポーツクラブが加入し、広島のスポーツ振興に向けた活動をしている組織。プロ野球「広島東洋カープ」やプロサッカー「サンフレッチェ広島」、バレーボールVリーグ「JTサンダース」等9チームのメンバーで構成され、競技の枠をこえ、「オール広島 オール・スポーツ」の実現に向け、さまざまな活動を展開している。

日本リーグ1部に昇格

2010年11月に開催された、日本リーグ2部にて全勝優勝して、1部・2部リーグ入れ替え戦への出場権を得ました。そして迎えた2011年2月のヨネックスとの大一番に見事勝利し、3年ぶりに日本リーグ1部に復帰することができました。



入れ替え戦の様子

広島東洋カープ合同応援の実施

がんばれ! われらがカープ。地元4社で合同応援

広島の活性化をめざし、2004年度から当社と中国電力(株)で、地元プロ野球団である広島東洋カープの合同応援を開始しました。翌年からは(株)広島銀行が、さらには2006年度からは(株)中電工が加わり、現在に至っています。

2010年度は8月の2試合(対横浜戦、対巨人戦)で実施。4社の合計で約1,800人の役職員とその家族が、マツダズームズームスタジアム広島に集い、熱い声援を送りました。



カープ合同応援

サンフレッチェ広島

「広島ガススポンサードゲーム」を開催

Go! サンフレッチェ!! 勝利にむけて

プロサッカーJリーグ「サンフレッチェ広島」をサポートし、地域の活カアップにつながるようとの願いを込め、「広島ガススポンサードゲーム」を開催しています。

2010年度は11月に、広島ビッグアーチでの対浦和レッズ戦で実施。約200人の役職員が集結し、約22,000人のサポーターとともに熱い声援を送りました。

試合開始前のセレモニーでは、会長、バドミントン部員による花束贈呈。社員有志によるビッグオーレの掲揚。ハーフタイムには、当社のCMを放映するとともに、暖房器やSiセンサーコンロ、ガス展のPRを行うなど、さまざまな演出でゲームを盛り上げ、サンフレッチェの勝利にむけたメッセージを発信しました。



試合前の花束贈呈



試合後のMVP選手への記念品贈呈

地域社会との関わり(次世代教育への取り組み)

広島ガスでは、地域にエネルギーを供給する事業者として、エネルギー・環境関連を中心に行政、教育委員会、学校、業界等と連携し、次世代教育に積極的に取り組んでいます。

当社の取り組みが、将来を担う世代の育成に寄与し、地域社会等の発展・活性化につながればと考えています。

出前授業によるサイエンスショーの実施(小中学生対象・イベント等)

理科や科学の楽しさについて、実験を通じて分かりやすく紹介する「サイエンスショー」を出前授業形式で展開し、県内の小中学校を年間30校程度訪問しています。冷熱実験・燃焼実験や燃料電池実験に加え、天然ガスの特性や環境の大切さ等もお伝えしています。なお、サイエンスショーは、小中学校に加え、県や市の公的な施設・イベント等でも実施しています。

■ 主な実施場所

学校	公的施設	イベント等
● 県内の小中学校 (年間30校程度)	● 広島市子ども文化科学館 ● 広島市交通科学館 ● 呉市海事歴史科学館 (大和ミュージアム) ● 県内の公民館 等	● ひろしま温暖化ストップ!フェア ● 環境の日ひろしま大会 ● 青少年のための科学の祭典 ● ちゅーピーまつり 等



小学校での出前授業

スーパーサイエンスミュージアム(SSM)の実施(小学生対象)

広島県内の教育関係者、広島市子ども文化科学館、広島ガスで実行委員会を立ち上げ、理科・科学好き小学生の育成をめざし、2003年度から実施しています。対象は小学校5～6年生の選抜メンバーで、学習指導要領にとらわれない高度な理科講座を年間20回程度展開、地元企業や博物館等との連携プログラムも取り入れています。

なお、SSMは2003年度に(財)社会経済生産性本部エネルギー環境教育情報センター主催のエネルギー広報活動表彰制度における「エネルギー環境教育情報センター運営委員長奨励賞」を受賞しています。



実験風景



総合発表会

■ SSMの主な講座内容

- チリメンモンスターを探せ
- 私たちの生活と菌
- 昆虫の世界(広島市昆虫館)
- 遺伝子組み換えにチャレンジ
- 養老孟司先生との大山宿泊研修
- DNAに迫る
- ロケットを飛ばそう
- 総合発表会
- 身近な放射線
- 太陽系誕生のひみつ
- 倉敷市立自然史博物館見学
- 災害から身を守る
- 科学研究のすすめ方
- マラカイトって何
- 水溶液の正体をつきとめよう
- 化学実習大集合



「エネルギー環境教育情報センター運営委員長奨励賞」受賞

参加者の声



SSMを受講して

保護者 渡辺 健二さん

SSMの講座は子どもが興味を持つことが出来るよう、ユニークな工夫がされていて驚かされます。(例えば普通に食べる「チリメン」に混ざっている様々な小生物(エビ・イカ等)を探し観察する学習を「チリメンモンスターを探せ」というテーマで子どもの興味を誘ってみたり...)学校の理科の授業にはあまり関心のなかった子どもも、講座を受けていくうちに「これやりたい!」「これからどうなるんだろう?」「これはどうなっているんだろう」と日常生活の中でも理科的な角度で興味を持つようになりました。これは子どもにとって、今後に生かされると思っております。

また、講座の内容も色々充実していて、大人である私たちにとっても興味深く人生の研究テーマに出会うかもしれない予感もあり、今後も期待で一杯です。

将来もかすると子ども的人生も変えるかもしれない「きっかけ」をくださった皆さま方にとっても感謝しております。これからも学校や家では学べないことをSSMを通じてたくさん経験し、深みのある人間になって欲しいものです。

受講者 渡辺 唯夏さん

私は、SSMに行くのが楽しみで次の講座が待ち遠しいです。それは、学校や家では出来ないことを、理科があまり得意でない私にも、先生方が丁寧に教えてくれるからです。

また、SSMで学んだことを、家に帰ってから家族で話し合ったりすることも私のもう一つの楽しみです。私は三姉妹で、私も妹たちも虫が嫌いでした。しかし、講座の中で虫の勉強をしてから、妹たちとも虫を見つけて足の数を数えるようになりました。

これからも楽しい講座がたくさんあります。学校の授業と違って、ニュースで言っているようなことも勉強できるので、ワクワクしています。大人が見ているニュースの意味が分かるようになるためにも、SSMの講座をしっかり学びたいと思います。

これからの講座もしっかり聞いて、学んで、大人が見ているニュースの意味も分かるようになりたいです。

理科教育事業への参画(中学生・高校生対象)

当社技術研究所では、経済産業省の理科教育事業に参画しています。当事業は、企業のエンジニアや研究員が、実社会との結びつきを重視した理科授業により、若年層への理科教育を一層充実させようとするものです。

2010年度は、広島県内の中学校5クラス、中学化学クラブ1件、高校1クラスを訪問するとともに、広島市理科教員を対象とした研修も実施し、ガス事業の紹介、燃料電池の仕組み、燃焼、冷熱実験等、当社の事業と関わりのある内容について、実験も交えながら授業を行いました。



研究員による説明



興味深く実験に取り組む生徒



実験に取り組む生徒

「夢・化学21」への出展(高校生対象)

当社技術研究所は、2010年8月、高校生向けの啓発キャンペーン事業「夢・化学21」に出展しました。当事業は、高校生への先端素材・技術等の紹介を通じ、化学技術や関連製品への理解の増大を目的とした産学官連携イベントです。

当社ブースでは、クリーンな天然ガスのPR、小型燃料電池模型による発電実験等を実施しました。



展示物に見入る生徒

食育講座の開催

最近、幼稚園、学校、テレビなどで、食育は大切と耳にすることが増えています。子どもたちは、食事を通じて日々成長しています。

当社ショールームガストピアセンターでは、親子料理教室やキッズ料理教室を定期的に開催しており、食育のお手伝いをしています。

食育と一言で言っても食材選び・調理方法・食事マナー・片付け・エコ教育など内容は盛りだくさんです。

食育を通じて、親子の絆が深くなり、次世代を担う子どもたちの成長にお役に立てることを願って活動しています。



食育講座

インターンシップの受け入れ(高校生・大学生対象)

当社では、2000年度からインターンシップの受け入れを行っています。2010年度は広島県内の大学生5名、高校生2名が参加しました。

参加者の声

インターンシップを体験して

インターンシップを受け入れてくださり、ありがとうございました。ガスの基礎や環境問題についての話、取材同行など普段では経験できないことが盛りだくさんでした。この5日間を通し、さまざまな人と知り合い、社会人になるということや企業のあり

方について考えることができました。

皆さまのアドバイスやご指導をこれからの就職活動に活かしていきたいです。本当にありがとうございました。

安田女子大学 現代ビジネス学部現代ビジネス学科 柳楽 遥さん



従業員との関わり

企業が発展していくためには、従業員の「力(ちから)」が不可欠です。
従業員にとって、やりがい・働きがいがあり、働きやすい職場環境づくりをめざしています。

雇用

地域社会に貢献できる人材を確保するため、自己成長をめざす自立型の人材を求めています。採用にあたっては、男女雇用機会均等法を順守して男女間に格差が生じないように公正な選考を行うほか、障がい者の雇用や定年退職後の継続雇用にも取り組んでいます。

雇用状況の推移

区分	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
期末要員数(人)	660	651	639	651	656
平均年齢(歳)	39.8	40.6	41.4	41.4	41.6
平均勤続年数(年)	17.8	18.5	18.9	19.4	19.5
新卒正社員採用数(人)	8	0	3	10	15
障がい者雇用数(人)	12	11	12	13	15

人事制度

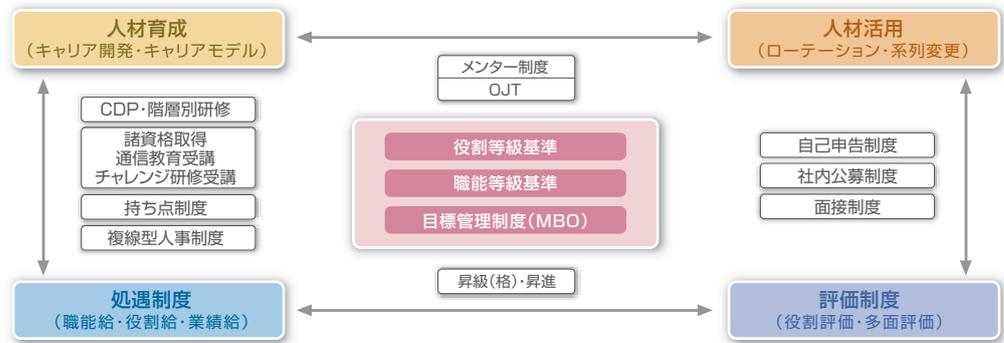
2020年ビジョンの基本方針のひとつとして、「公正かつ透明で風通しの良い組織へ変革し、地域の好感度No.1の企業グループをめざす」ことを掲げています。「企業は人なり」の理念にもあるように、会社が発展していくためには従業員一人ひとりの成長が必要であり、「やりがい・働きがいの向上」にむけて、役職員全員が組織の目標達成にむけチャレンジし、努力・協力を継続できる仕組みづくりが大切です。

当社では、従業員一人ひとりの能力を伸ばし、さらに

個人が発揮した能力や役割遂行、業務課題の達成度を公平・公正に評価し、適正に処遇へ反映させる人事制度を構築・運用しています。能力や成果を評価する評定者に対しては、毎年集合研修・評定者訓練等を実施しています。

また、従業員の育成や自己啓発を支援するさまざまな研修コースを充実させ、従業員のチャレンジを支援しており、その成果を持ち点として登録し、人事処遇制度とリンクさせています。

人事処遇制度の概念図



研修体系図(例)

	新入社員					管理職能				
階層別研修 (役割認識とマネジメント力強化)	新入社員研修			ジュニアリーダー研修	マネジメントマインド研修	新任管理職研修	管理職(M1)研修			
キャリア開発研修(CDP) (生涯の仕事生活を通じた成長と能力開発)	CDP1 (入社半年後)	CDP3 (入社3年目研修)		CDP8 (入社8年目研修)		CDP40 (40歳時研修)	CDP50 (50歳時研修)			
チャレンジ研修 (テーマ別のスキルアップ)	(理解判断力) (創意工夫力) (コミュニケーション力) (問題解決力) (企画力) (折衝・調整力) (指導力) (決断力) 各能力別コース									
社内研修 (社内資格研修等)	<ガス基本スキル> <ビジネス基本スキル>		<ガス専門スキル研修(各種資格研修)> <技能向上研修> <オーダーメイド研修>							
社外セミナー派遣 (職務別のスキルアップ等)	各種部門内研修 各種社外講演会 異業種交流セミナー									
人間性を磨く	人権学習会・マナー講演会・マネジメント講演会									
国内外留学	キャリアチャレンジ支援・国内留学・海外留学									
自己啓発支援	通信講座受講支援 資格取得支援									

女性人材の積極的な活用

女性の能力の活用が企業の発展に欠かせないものであるという認識が広がるなか、当社においても、事業や業種の特性上これまでは男性主体になりがちだった職場環境や社員の意識を改革し、女性の職域拡大や、女性が働きやすく、そして能力を発揮できる職場づくりを推進してきました。そうした取り組みは、社内のみならずお客さまや出向先企業にも高く評価され、事業の成果にもつながっています。

■ 主な取り組み(例)

- 従来の男性主体の職域に女性社員を配置し、職域を拡大
- 女性の主任、係長、管理職への積極的登用を促進

■ 主任以上の女性数の推移(管理職能・指導職能)

区分	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
主任以上(人)	35	36	41	49	57

ワークライフ・バランスへの取り組み

◎ 育児・介護休職制度、育児短時間勤務制度

社員の活躍を支援する仕組みのひとつとして「育児・介護休職制度」の利用を促すとともに、2009年から「育児短時間勤務制度」を導入し、働きやすい職場環境づくりを推進しています。これは女性だけでなく、男性の働き方や育児・介護参加の視点を含めた取り組みであり、社会的責任を果たす上でも大変重要であると考えています。

■ 育児・介護休職制度等の利用者の推移

区分	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
育児休職制度利用者(人)	2	2	2	3	4
育児休職制度利用者の復職率(%)	100	100	100	100	100

■ パパ・ママ育休プラス制度

母親だけでなく、父親も育児に参加しやすくなるような仕組みを2010年6月30日から導入し、母親と父親がともに育児休職を取得する場合、子どもが1歳2カ月になるまで取得可能となりました。また産後8週間以内に父親が育児休職を取得した場合、特別な事情がなくても2回目の育休を取得する事ができます。

◎ ボランティア休暇制度

社員のボランティア活動を支援するため、環境保全活動、地域社会貢献活動、社会福祉活動等に参加する

社員の声

育児休職を取得

経理部 本中 亮司



2010年12月下旬の長男(第2子)誕生を機会に、2011年1月中旬まで約3週間、育児休職を取得いたしました。妻の入院期間に、娘(1人目)に寂しい思いをさせたくないと思ったのがきっかけです。娘と一緒にいながら、妻のサポートができればと思いました。

年末年始を挟んだ業務閑散期というタイミングもあり、上司に相談したところ、快く受け入れて下さいました。また職場のメンバーの協力により、安心して休むことができ、感謝しています。

休職中は娘の世話を中心とする家事全般を行い、予想以上に慌ただしい毎日でしたが、家族と一緒に過ごす時間はとても楽しく、幸せでした。育児休職取得については、業務都合や家庭環境を踏まえて、周囲とも相談する必要があると思いますが、2010年に「パパ・ママ育休プラス制度」が導入されましたので、タイミングが合えばもう一度取得したいと思います。

人権

従業員の人権を尊重し、人権への正しい理解と認識を社内に広めるため、「広がす人権宣言」を制定するとともに、誰もが働きやすく能力発揮できる職場をめざし、「快適な職場の条件10か条」を定めています。

また、社長を委員長とする「人権啓発推進委員会」を中心に、全役職員を対象に人権学習会や人権講演会を開催するなど、積極的に啓発活動を進めています。

さらに、グループ会社とともに広島同企連(「同和問題の解決をめざす広島企業連絡会」の略称)に加入し、地元企業と連携した人権活動にも取り組んでいます。

安全衛生・健康管理

労働安全衛生関係諸法規の順守はもちろん、「安全衛生管理規程」を制定し、安全衛生管理組織のもとで労働災害の防止と従業員の安全・健康管理の確保、快適な職場環境づくりを行っています。

健康管理面では、当社独自の「健康管理規程」に従い、定期健康診断では産業医の指示のもと、法定検査項目以外の検診も実施するとともに、個別カウンセリングを行っています。

また、メンタルヘルスについては、社外のカウンセリング機関との連携、さまざまな情報の提供や管理職への講習会を実施するなど、十分配慮しています。

社会分野

情報発信・コミュニケーション

当社は、すべてのステークホルダーの皆さまに当社グループの活動等をご理解いただけるよう、さまざまな情報発信等を行っています。

具体的には、ホームページや各種法定書類等を通じてIRや環境保全に関する情報を適宜発信しているほか、プレスリリース、グループ広報誌等を通じて必要な情報をタイムリーに発信しています。

また、お客さまや地域の消費者団体の皆さまとの交流にも意欲的に取り組んでいます。

■ 各種IR情報ツール

年4回、有価証券報告書等を発行しているほか、株主の皆さま向けの報告書を発行するなど、適宜、当社の活動内容や財務状況の全容を明らかにしています。なお、当社のホームページにおいても各種IR情報をご覧いただけます。



第157期報告書



広島ガスホームページ「IR情報」



プレスリリース



決算短信

■ グループ広報誌

広島ガスグループ役職員が経営重要事項をしっかりと情報共有し、グループ全体の価値向上・リスク管理を行うことを目的に、年6回発行しています。グループ会社の役職員に加え、同業他社(エネルギー関係)、取引先企業、マスコミ関係者、官公庁、県内教育機関、オピニオンリーダー等にも配布。当社グループの状況を社外の皆さまにお伝えするツールとしても活用しています。



グループ広報誌「GAS LAND」

■ 報道発表

当社グループのトピックスや財務状況等の情報は、記者会見、プレスリリース等を適宜実施してマスコミに提供し、ステークホルダーの皆さまにはマスメディアを通じ速やかに伝達されるよう、積極的な情報発信を行っています。なお、プレスリリース等の資料は、当社のホームページからご覧いただけます。



記者会見の様子



取材の様子

■ 広島ガスホームページ

当社の事業内容等を十分にご理解いただき、より多くの皆さまの快適な生活の創造にお役立ていただけるよう、多彩な生活情報・ガス器具やガスの保安に関する情報等を適宜更新しています。

<http://www.hiroshima-gas.co.jp/>



ホームページ画面



● IR情報

▶ <http://www.hiroshima-gas.co.jp/com/ir/index.htm>

● プレスリリース

▶ http://www.hiroshima-gas.co.jp/com/w_new/index.htm

お客さま満足度向上の取り組み

◎お客さまの声を業務改善に活かしていきます。

当社グループでは、お客さまからいただいたご意見・ご要望等をグループ役職員で共有し、日々の改善活動、品質向上などに積極的に活用する取り組みを2011年6月から開始いたしました。

引き続き、お客さま満足度の向上に努めていきます。

お客さまの声に基づく改善事例

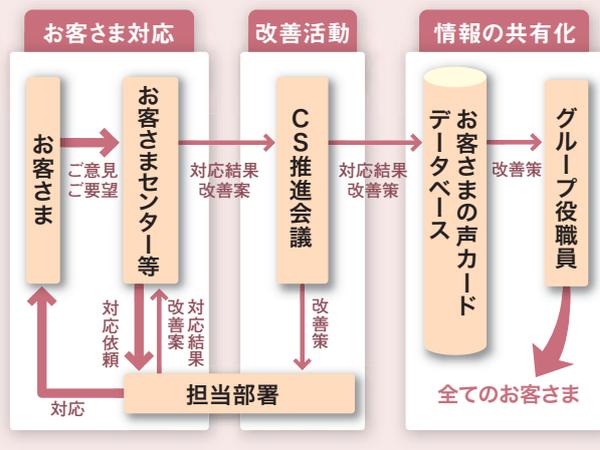
お客さまの声

不使用のガス栓を誤って開けるといけないので、防止策はないか。

改善内容

お客さまに「誤操作防止キャップ」を取り付け、各ガスショップにおいても取り扱いを開始しました。

《システムの流れ》



消費者団体との懇談会

◎お客さまにガス事業を知っていただくために

当社の事業の取り組みについて地域の皆さまに理解を深めていただくため、(社)広島消費者協会との懇談会を毎年開催しています。懇談会では当社の取り組みをご説明するとともに、当社の施設見学や講演会等を行い、当社の活動状況について幅広くご紹介しています。



(社)広島消費者協会との定例懇談会

料理教室・セミナー

◎安心して快適なガスライフを発信しています

当社ショールームや住宅展示場でのイベント等において、ガス機器の良さを体感していただくための活動をしています。また、ショールームでは、ガス機器の上手な使い方(省エネ性)、環境性、安全性、快適性をテーマにした料理教室やセミナーを開催しています。

このようなお客さまとの接点を通じ、安心して快適なガスライフを発信しています。



料理教室

2010ガス展

◎ガスのある快適な暮らしをご提案

2010年度のガス展は、「エコな暮らしなるほど」をテーマに開催し、11月27日からの2日間で約2万人のお客さまにお越しいただきました。お客さまには、日頃の感謝の気持ち

をお伝えするとともに、エネファーム等の最新ガス機器の展示・体験を通して、地球にも家族にも優しい「エコな暮らし」をご提案し、ガスのある快適な暮らしを発信しました。



クッキングステージ



Siセンサーコンロ展示販売コーナー



来場者でにぎわう会場

経営分野

環境分野

社会分野

広島ガスの概要

当社は、1909年(明治42年)10月30日に創立。日本のガス事業者としては1872年に開業した横浜瓦斯灯会社から数えて22番目、中国地方では最初のガス事業者となりました。以来、1世紀にわたり地域の皆さまとともに着実に歩み続けてきました。

現在では、広島市を中心に県内5市とその周辺地域の41万8千件のお客さまに、化石燃料の中で最も環境負荷の小さい天然ガスをお届けしています。

本社所在地 / 広島市南区皆実町二丁目7-1
TEL 082-251-2151 (代表)

創立 / 1909年10月

資本金 / 32億9千1百万円

従業員数 / 656名

事業内容 / ① ガス事業

② ガス器具の販売

③ 液化天然ガスの販売

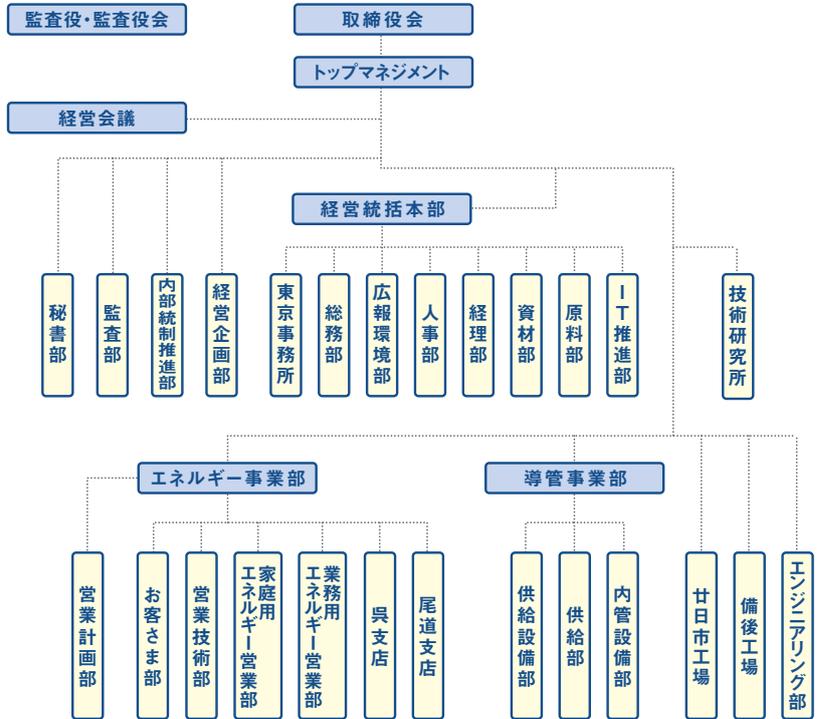
(2011年3月末現在)



広島ガス 本社

■ 広島ガス組織図

(2011年6月24日現在)



■ 地域のサービス窓口

■ ガスショップ



連絡先

コールセンター

TEL.082-251-2151

※お近く的气体ショップをご案内します。



■ ショールーム

● ガストピアセンター

最新ガス機器を体感いただき、温かなガスのある暮らしへ



体感・展示設備

- 家庭用燃料電池 (エネファーム)
- 家庭用コージェネレーション (エコウィル)
- 床暖房・浴室暖房体感ルーム
- ミストサウナ体感ルーム
- ためして! キッチン (厨房比較体感)

連絡先 広島市中区南竹屋町1-30 TEL.082-240-8888

● ガストピア五日市

ガストピアセンターに次ぐ、西部地区の体験型ショールーム



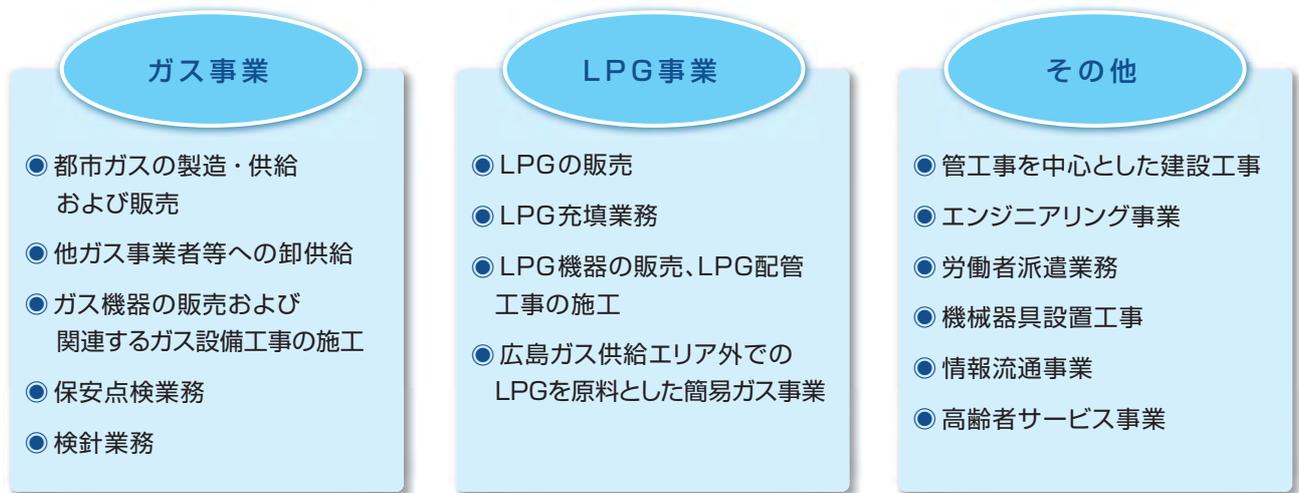
体感・展示設備

- 家庭用燃料電池 (エネファーム)
- 床暖房体感ルーム
- ミストサウナ体感ルーム
- ためして! キッチン (厨房比較体感)
- 太陽光発電

連絡先 広島市佐伯区海老園二丁目7-43 TEL.082-923-5678

広島ガスグループの概要

広島ガスグループ(当社、子会社31社および関連会社15社により構成)においては、ガス事業、LPG事業を主として行っています。

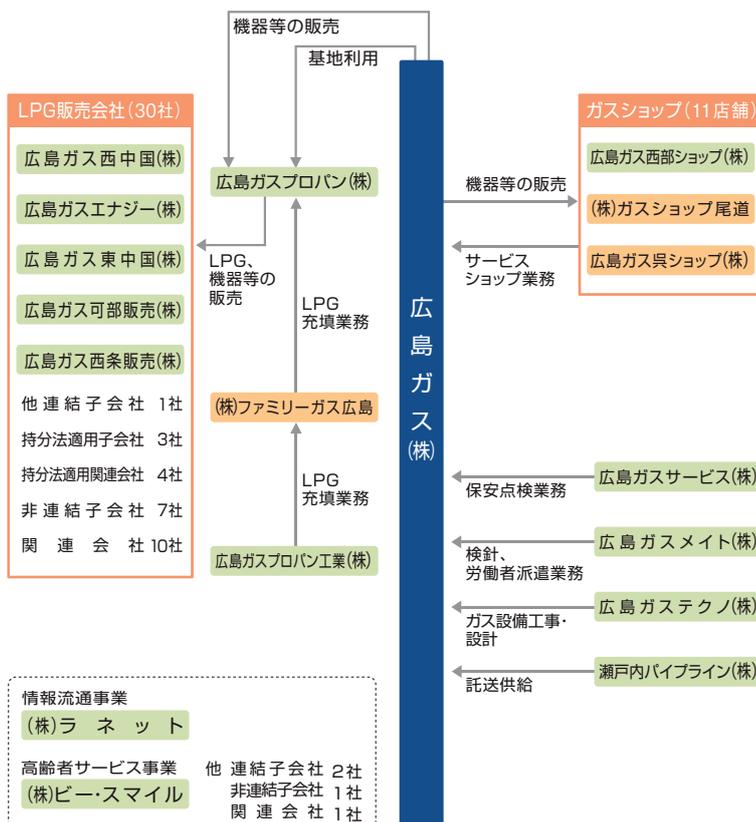


■ 事業系統図

(2011年3月末現在)

広島ガス(株)を中心に子会社・関連会社を含めて47社で構成されています。

■ 連結子会社 ← 物流・役務の流れ
■ 持分法適用子会社



■ 主要子会社の概要

(2011年3月末現在)

広島ガスプロパン株式会社

資本金/3億円 創業/1969年3月
売上高/11,621百万円 従業員数/88名

広島ガスサービス株式会社

資本金/2千万円 創業/1972年4月
売上高/1,604百万円 従業員数/84名

広島ガスマイト株式会社

資本金/2千万円 創業/1975年4月
売上高/978百万円 従業員数/176名

広島ガステクノ株式会社

資本金/8千万円 創業/1998年6月
売上高/6,157百万円 従業員数/75名

株式会社ラネット

資本金/3千万円 創業/2000年10月
売上高/608百万円 従業員数/7名

株式会社ビー・スマイル

資本金/5千万円 創業/2001年6月
売上高/213百万円 従業員数/33名

瀬戸内パイプライン株式会社

資本金/1億5千万円 創業/2003年5月
売上高/684百万円 従業員数/6名

広島ガス CSR 報告書 2011

発行 2011年8月(次回予定 2012年7月)

広島ガス株式会社 広島市南区皆実町2丁目7-1
広報環境部 ☎082-252-3000(直通)



《表紙デザイン》

草原で手をつなぎ、希望に満ちあふれた未来へ走り出す子どもたち。

私たちは、次の世代に豊かな自然環境と社会を引き継いでいくため、常に前を向き、絶えず前進し続け、地域社会の持続可能な発展に貢献していく決意を表現しています。



このレポートの印刷する際の電力400kWhは、自然エネルギーでまかなわれています。

